

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県民税市町交付金事業					決算書頁			
310 -							265			
基本情報		コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-3	森林保全・林業		H26 年度～ R6 年度		01-06-02-02-06-04			
	基本事業	②	森林資源の利活用		担当 部署	部・課名 等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	地域の森と緑のつながり支援事業		産業振興部農林振興課		課長 堀 久仁寿 0595-22-9712				
事務事業の概要	対 象	住民自治協議会等								
	目 的	次世代を担う子どもたちの森林環境への理解と関心を深める								
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例、地域の森と緑のつながり支援事業補助金交付要綱								
	内 容	1回あたり5万円を上限として世代間交流などによる森林環境・林業等に関する学習活動・体験活動などに対して補助を行う事業ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により申請がありませんでした。 申請団体 無し 伊賀市の森林・林業の現状把握と検討を行って、材木搬出コスト及び木質バイオマスの搬出促進に寄与する報告書を作成しました。 三重大研究委託 250,000円 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント時におけるPR活動を実施出来なかったため、三重県伊賀庁舎及び伊賀市役所庁舎にて、木育と森林・林業についてのPRブースを設置する期間を設けて周知を行いました。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	負担金、補助及び交付金		— 円		地域の森と緑のつながり支援事業補助金					
	委託料		250,000円		三重大研究委託					
	計		250,000円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) みえ森と緑の県民税市町交付金 250,000円	
			国県支出金		500	981	250	300		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		0	0	0	0		
			一般財源		0	0	0	0		
		合計(A)		500	981	250	300			
		人件費	正規職員	業務量	0.15 人	0.01 人	0.01 人	0.01 人		
				人件費	1,172	78	78	78		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		1,172	78	78	78		
			合計(A+B)		1,672	1,059	328	378		
	市民1人当たりのコスト(円)		19	12	4	5				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	補助金申請団体数		当該補助金の申請団体数		団体	目標	8	6	6	6
						実績	0			
	指標化できない成果				達成	0%				
方向	改善	課題	コロナ禍の影響もあり、地域からの補助金申請数が減少しています。それに伴い、地域住民が森林・林業にふれあう機会が減少しています。							
		改善案	事業を活用していただきやすいように啓発を丁寧に行い、地域における森林環境・林業に関する教育活動を支援することで、地域住民や子どもたちが共に森林・林業等への関心を持ち、身近な生活における森と緑のつながりを感じられるようにします。							

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県民税市町交付金事業						決算書頁	
311 -								265	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-3	森林保全・林業	H26 年度～ R6 年度		01-06-02-02-06-05	
	基本事業	②	森林資源の利活用	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	みえ森と緑の県民税市町交付金基金事業			産業振興部農林振興課		課長 堀 久仁寿 0595-22-9712

事務事業の概要	対 象	みえ森と緑の県民税市町交付金のうち、一般会計歳入歳出予算で定める額		
	目 的	災害に強い森林づくり及び市民全体で森林を支える社会づくりを推進する施策に要する経費の財源に充てる		
	根拠法令等	伊賀すみえ森と緑の県民税市町交付金基金条例		
	内 容	みえ森と緑の県民税市町交付金基金積立金 2,661,978円 みえ森と緑の県民税市町交付金基金運用益 26,669円		

事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要
	積立金	2,688,647円	みえ森と緑の県民税基金積立金
	計	2,688,647円	

全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金	2,345	0	2,662	0		
			地方債	0	0	0	0		
			その他	43	12	27	17		
			一般財源	0	0	0	0		
				合計(A)	2,388	12	2,689	17	
	人件費	正規職員	業務量	0.01 人	0.01 人	0.01 人	0.01 人		
			人件費	79	78	78	78		
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
			人件費	0	0	0	0		
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
			人件費	0	0	0	0		
		小計(B)	79	78	78	78			
	合計(A+B)	2,467	90	2,767	95				
市民1人当たりのコスト(円)			28	2	31	2			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	—	—	—	目標	—	—	—	—
				実績	—			
	指標化できない成果	基金への積立金であり、指標化できません。	達成	—				

方向	継続	課題	伊賀すみえ森と緑の県民税市町交付金基金への積立金です。
		改善案	基金を活用して実施する事業の検討を行います。

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県民税市町交付金事業						決算書頁		
312 -								265		
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-3	森林保全・林業			H28 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-06			
	基本事業	②	森林資源の利活用			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	未利用間伐材バイオマス利用推進事業			産業振興部農林振興課		課長 堀 久仁寿 0595-22-9712			
事務事業の概要	対 象	未利用間伐材搬出者								
	目 的	未利用間伐材利用を促進して林地残材の減少を図り、森林所有者等による森林整備につなげる								
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例、未利用間伐材バイオマス利用推進事業補助金交付要綱								
	内 容	発電用チップに係る間伐材等由来の木質バイオマス証明材を、市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者に買い取ってもらうために必要な搬出、及び運搬に要する経費の一部を助成しました。 間伐材等由来の木質バイオマス証明材:1トン当たり 3,000円 搬出量:1,828.86トン								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	負担金、補助及び交付金		5,486,580円		未利用間伐材バイオマス利用推進事業補助金					
	計		5,486,580円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) みえ森と緑の県民税市町交付金 5,486,580円	
			国県支出金		5,837	5,000	5,487	7,397		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		0	1,000	0	103		
			一般財源		0	0	0	0		
		合計(A)		5,837	6,000	5,487	7,500			
		人件費	正規職員	業務量	0.15 人	0.13 人	0.13 人	0.13 人		
				人件費	1,172	1,010	1,010	1,006		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		1,172	1,010	1,010	1,006		
			合計(A+B)		7,009	7,010	6,497	8,506		
	市民1人当たりのコスト(円)		78	79	73	97				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	未利用間伐材搬出量		補助対象となった未利用間伐材の搬出量		t	目標	2000	2500	3000	3000
						実績	1828.86			
	指標化できない成果					達成	91.4%			
方向	充実	課題	補助事業の申請書類について、林業従事者から簡略化を求められています。 搬出量を増加させるためには、伐採及び搬出作業の効率化を進める為の作業道整備や、林業従事者を増やすなど、関連施策の実施が必要となります。							
		改善案	補助金申請書類の見直しを行い、申請を簡素化して活用しやすくします。 伐採及び搬出作業の効率化を図る事業や、林業従事者を増加させる施策を実施します。							

整理番号		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県民税市町交付金事業							決算書頁				
313 -									265				
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業					
	施策	3-3	森林保全・林業			H28 年度～ R6 年度		01-06-02-02-06-07					
	基本事業	②	森林資源の利活用			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先				
	事務事業名	森のやすらぎ空間整備事業			産業振興部農林振興課		課長 堀 久仁寿 0595-22-9712						
事務事業の概要	対 象	市民が木とふれあい、やすらげる空間を創出する。											
	目 的	木の薫るやすらぎの街づくりのため、伊賀市産木材を利用し街中にやすらげる空間をつくる											
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例、産業振興部関係補助金等交付要綱											
	内 容	事業実施主体(伊賀線活性化協議会)が、地元高校生と共同で開発した伊賀産材を用いた木製ベンチを伊賀線駅構内に設置し、伊賀鉄道の利用促進につなげるため、市内の高校生(白鳳高校工芸部)が木製ベンチを開発することに対する助成を行いました。 木製ベンチ開発に伴う原材料費・需用費等について一定の範囲内で助成しました。 事業実施主体:伊賀線活性化協議会 箇所:1箇所(伊賀線茅町駅)											
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要							
	負担金、補助及び交付金		699,994円		森のやすらぎ空間整備事業補助金								
	計		699,994円										
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業 費	項目		R2年度決算		R3年度当初予算		R3年度決算		R4年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金		700		700		700		700		
			地方債		0		0		0		0		
			その他		0		0		0		0		
			一般財源		0		0		0		0		
		合計(A)		700		700		700		700			
		人件 費	正規職員	業務量	0.10	人	0.05	人	0.05	人	0.05	人	
				人件費	782		389		389		387		
			再任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人	
				人件費	0		0		0		0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人	
				人件費	0		0		0		0		
			小計(B)		782		389		389		387		
			合計(A+B)		1,482		1,089		1,089		1,087		
	市民1人当たりのコスト(円)		17		13		13		13				
指標	指標名		指標の説明			単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
	整備箇所数	森のやすらぎ空間を整備した箇所数			箇所	目標	1	1	1	1			
						実績	1						
	指標化できない成果					達成	100%						
方向	継続	課題	事業者からの申請による事業を、木の薫るやすらぎの街づくり及び高校生の森林環境及び木工技術の研鑽の機会と出来るようにすること。										
		改善案	事業申請者と調整し、木の薫るやすらぎの街づくり及び高校生の木製品の製作を通して木や森林に関心を持つ良い機会とするよう、継続して事業を実施します。										

整理番号	(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)06みえ森と緑の県民税市町交付金事業	決算書頁
314 -		265

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H26	年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-09
	基本事業	② 森林資源の利活用	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	親子ではじめる木育推進事業		産業振興部農林振興課	課長 堀 久仁寿 0595-22-9712

事務事業の概要	対 象	伊賀市に住む幼児		
	目 的	幼児期から木のぬくもりに触れる機会をあたえることで、「木育」のきっかけを作る		
	根拠法令等	みえ森と緑の県民税条例		
	内 容	健やかな子どもの成長と木材利用の推進を図るため、「木育」のきっかけとして地域材のフォトフレーム、木製のスプーン、木製の箸をプレゼントしました。 出生届提出時 (木製フォトフレーム) 540個 1歳6ヶ月児健診 (木製スプーン) 590本 3歳児健診 (木製子ども用箸) 620膳		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	需用費	消耗品費	1,533,400円	木製フォトフレーム 540本 1,009,800円 木製スプーン 590本 338,800円 木製箸 620膳 184,800円
	役務費	通信運搬費	17,760円	レターパック 48通 17,760円
	計		1,551,160円	

		項目	R2年度決算		R3年度当初予算		R3年度決算		R4年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) みえ森と緑の県民税市町交付金 1,551,160円		
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	国県支出金		2,335		2,778		1,551			2,509	
			地方債		0		0		0			0	
			その他		0		0		0			0	
			一般財源		0		0		0			0	
			合計(A)		2,335		2,778		1,551			2,509	
	人件費	正規職員	業務量	0.10	人	0.12	人	0.12	人	0.12		人	
			人件費	782		932		932		929			
		再任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00		人	
			人件費	0		0		0		0			
		会計年度任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00		人	
			人件費	0		0		0		0			
		小計(B)		782		932		932		929			
		合計(A+B)		3,117		3,710		2,483		3,438			
		市民1人当たりのコスト(円)			35		42		28			40	

指 標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	木育の認識	アンケートで「木育を知っていた」を選択した割合	%	目標	25	26	28	30
				実績	20			
	指標化できない成果			達成	80%			

方向	継続	課題	配布した木製品が、着実に木育の推進に繋がっているのかを検証する必要があります。
		改善案	市民からのニーズは高いと考えるが、今後さらに木育の推進に繋がるように、手法を検討していきます。

整理番号							決算書頁			
315 -		(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)07森林環境譲与税事業					267			
基本情報		コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-3	森林保全・林業		R元 年度～ R6 年度		01-06-02-02-07-01			
	基本事業	①	森林環境の整備		担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	森林環境譲与税事業		産業振興部農林振興課		課長 堀 久仁寿 0595-22-9712				
事務事業の概要	対 象	伊賀市内の森林								
	目 的	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進を行う								
	根拠法令等	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律								
	内 容	令和元年度から譲与されている森林環境譲与税は、山村地域のこれまで手入れが十分に行われてこなかった森林の整備の進展等を目的とされ創設されました。 令和3年度は、昨年度と同様に未整備協定林の整備事業及び境界明確化事業を実施したことに加えて、伊賀市の山の管理を計画的に進めるため、行政及び林業事業者等(川上・川中・川下)により令和2年7月に立ち上げた伊賀市未来の山づくり協議会において4部会における部会事業を実施しました。 ・未整備協定林整備調査業務 229箇所 ・未整備協定林整備事業 66.48ha ・伊賀市未来の山づくり協議会事業 ・森林境界明確化事業 225ha ・伊賀産材ブランド化事業補助金 1,315㎡								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	委託料		4,730,000円		未整備協定林整備調査業務委託料 委託先:伊賀森林組合					
			20,900,000円		未整備協定林整備業務委託 委託先:伊賀森林組合					
	負担金、補助及び交付金		9,900,000円		伊賀市未来の山づくり協議会負担金					
			657,190円		伊賀産材ブランド化事業補助金					
			10,613,970円		森林境界明確化事業補助金					
	積立金		6,737,324円		森林環境譲与税基金積立金					
	計		53,538,484円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		56,196	56,194	0	0		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		33	9	121	13,707		
			一般財源		0	0	53,418	73,076		
		合計(A)		56,229	56,203	53,539	86,783			
		人件費	正規職員	業務量	0.70 人	0.72 人	0.72 人	0.72 人		
				人件費	5,468	5,591	5,591	5,571		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		5,468	5,591	5,591	5,571		
			合計(A+B)		61,697	61,794	59,130	92,354		
		市民1人当たりのコスト(円)		682	693	663	1,052			
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	環境林整備面積		間伐により環境林整備を行った面積		ha	目標	68	180	200	200
						実績	66.48			
	指標化できない成果					達成	97.8%			
方向	継続	課題	森林経営管理制度を推進するため、モデル地区である諏訪地区において意向調査業務を進める必要があります。 未整備環境林整備事業及び森林境界明確化事業を推進する必要があります。 伊賀市未来の山づくり協議会において、環境整備部会、魅力創造部会、木材利活用部会及び人材育成事業を推進する必要があります。							
		改善案	森林経営管理制度意向調査、森林境界明確化事業及び未整備環境林整備事業を推進する為計画的に業務発注等を行います。 伊賀市未来の山づくり協議会において、環境整備部会、魅力創造部会、木材利活用部会及び人材育成部会を計画的に開催し、部会事業及び各制度案について十分に検討し、事業を推進します。							

整理番号							決算書頁			
316 -		(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)01商工業振興経費					267			
基本情報		コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-5	商工業・産業立地		H16 年度～ R6 年度		01-07-01-02-01-01			
	基本事業	①	商工業の活性化		担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	商工振興経費		産業振興部商工労働課		課長 前川 博善 0595-22-9669				
事務事業の概要	対 象	関係団体および事業者								
	目 的	伊賀市内の商工業の振興・発展のため、関係団体や事業者に対して支援を行う。								
	根拠法令等	中小企業振興事業資金利子補給補助金実施要領、小規模事業資金融資制度保証料補助金実施要領など								
	内 容	・上野商工会議所及び伊賀市商工会等の関係団体や事業者に対して、商工業者の育成と発展を図ることを目的に、当該団体が実施する事業に対し補助金を交付しました。 ・日本政策金融公庫による経営改善貸付制度の設備資金利用者に対する利子補給補助や小規模事業資金制度の利用者に対し、三重県信用保証協会への支払保証料に対する補助を行いました。 【負担金、補助事業等】 中小企業相談業務負担金(上野商工会議所)、三重県産業支援センター負担金、三重県計量協会負担金、日本貿易振興会三重県情報センター事業運営負担金、商工会議所事業費負担金、中小企業振興事業資金利子補給補助金、小規模事業資金融資制度保証料補助金、商工会事業費補助金、地域総合整備資金貸付連帯保証料補助金、起業・事業承継促進事業補助金								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	報酬		84,000円		産業振興条例策定委員会委員報酬費					
	委託料		150,000円		商業後継者育成事業委託費(委託先:上野商工会議所)					
	使用料及び賃借料		871,200円		事業所情報発信支援サイト利用料					
	負担金、補助及び交付金		43,680,705円		中小企業相談業務負担金 4,000,000円 利子補給補助金、保証料補助金 2,356,852円 商工会議所事業費補助金 2,000,000円 商工会事業費補助金 25,207,000円 起業・事業承継促進事業補助金 8,026,422円 他4件 2,090,431円					
	その他		110,170円		旅費、消耗品費					
	計		44,896,075円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		3,000	1,500	4,014	3,000		
			地方債		0	0		462,000		
			その他		0	5,800	5,800	6,000		
			一般財源		47,430	43,000	35,083	43,147		
		合計(A)		50,430	50,300	44,897	514,147			
		人件費	正規職員	業務量	1.00 人	0.32 人	0.35 人	0.35 人		
				人件費	7,811	2,485	2,718	2,708		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		7,811	2,485	2,718	2,708		
			合計(A+B)		58,241	52,785	47,615	516,855		
	市民1人当たりのコスト(円)		644	592	534	5,888				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	商工会議所・商工会会員数		商工会議所・商工会会員数		企業	目標	1,934	2,041	2,041	2,041
						実績	2,041			
	指標化できない成果					達成	105.5%			
方向	継続	課題	商工業を取り巻く環境は日々変化しているが、補助を行っている商工団体等については、例年と同内容の事業を行っている。							
		改善案	I・II. 例年と同じ事業をするのではなく、ブラッシュアップを行い、時代に即した事業を実施いただくよう指導を徹底する。							

整理番号							決算書頁															
317 -		(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)01商工業振興経費					267															
基本情報		コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業															
	施策	3-5	商工業・産業立地		H16 年度～ R6 年度		01-07-01-02-01-03															
	基本事業	①	商工業の活性化		担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先														
	事務事業名	地場産業振興事業		産業振興部商工労働課		課長 前川 博善 0595-22-9669																
事務事業の概要	対 象	物産振興団体																				
	目 的	伝統工芸品産業(伊賀焼・伊賀組紐)の振興を図る																				
	根拠法令等																					
	内 容	・伊賀焼振興協同組合へ伊賀焼伝統産業会館を指定管理として委託しました。展示スペースの管理および年間を通じて陶芸教室を開催し、伊賀焼の普及に努めました。 ・伝統的工芸品産業振興補助金として、三重県組紐協同組合、伊賀焼振興協同組合に補助を行い、それぞれの団体は、伊賀組紐、伊賀焼について市民向けに教室等を行い、普及を図りました。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、「じばさんまつり」等の事業が実施できませんでした。																				
	事業に要した 主な経費 など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr><tr><td>需用費</td><td>319,110円</td><td>修繕費 319,110円 (伝産会館照明取替、伝統伝承館非常用照明器具取替)</td></tr><tr><td>委託料</td><td>4,534,000円</td><td>伊賀焼伝統産業会館指定管理料 4,248,000円 伊賀伝統伝承館保守点検業務委託料 286,000円</td></tr><tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td>530,000円</td><td>伝統的工芸品産業振興協会会費 50,000円 伝統的工芸品産業振興補助金 480,000円 (三重県組紐協同組合、伊賀焼振興協同組合)</td></tr><tr><td>計</td><td>5,383,110円</td><td></td></tr></table>							経費	金額	摘要	需用費	319,110円	修繕費 319,110円 (伝産会館照明取替、伝統伝承館非常用照明器具取替)	委託料	4,534,000円	伊賀焼伝統産業会館指定管理料 4,248,000円 伊賀伝統伝承館保守点検業務委託料 286,000円	負担金、補助及び交付金	530,000円	伝統的工芸品産業振興協会会費 50,000円 伝統的工芸品産業振興補助金 480,000円 (三重県組紐協同組合、伊賀焼振興協同組合)	計	5,383,110円
経費	金額	摘要																				
需用費	319,110円	修繕費 319,110円 (伝産会館照明取替、伝統伝承館非常用照明器具取替)																				
委託料	4,534,000円	伊賀焼伝統産業会館指定管理料 4,248,000円 伊賀伝統伝承館保守点検業務委託料 286,000円																				
負担金、補助及び交付金	530,000円	伝統的工芸品産業振興協会会費 50,000円 伝統的工芸品産業振興補助金 480,000円 (三重県組紐協同組合、伊賀焼振興協同組合)																				
計	5,383,110円																					
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)														
			国県支出金	0	0																	
			地方債	0	0																	
			その他	0	0																	
			一般財源	5,730	6,901	5,384	5,758															
		合計(A)	5,730	6,901	5,384	5,758																
		人件費	正規職員	業務量	0.45 人	0.45 人	0.35 人		0.35 人													
				人件費	3,515	3,494	2,718		2,708													
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人													
				人件費	0	0	0		0													
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人													
				人件費	0	0	0		0													
			小計(B)	3,515	3,494	2,718	2,708															
			合計(A+B)	9,245	10,395	8,102	8,466															
	市民1人当たりのコスト(円)		103	117	91	97																
指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度														
	伊賀焼伝統産業会館・伊賀伝統伝承館の来客数	伊賀焼伝統産業会館・伊賀伝統伝承館の来客数	人	目標	15,000	22,000	22,000	22,000														
				実績	13,416																	
	指標化できない成果			達成	89.4%																	
方向	継続	課題 ・各事業とも次世代の担い手不足が懸念されており、事業が衰退していく恐れがある。 ・施設が老朽化しており、維持・修繕を行っていく必要がある。																				
	改善案	Ⅰ. 担い手不足については、業界が一丸となって自主的に後継者を育成できるよう、より積極的なPR活動を行う。 Ⅱ. 施設機能の維持を図るため、様々な財源の活用を考慮し、保守・修繕を行う。																				

整理番号							決算書頁			
318 -		(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)02企業立地促進経費					269			
基本情報		コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-5	商工業・産業立地		H16 年度～ R6 年度		01-07-01-02-02-01			
	基本事業	②	企業立地		担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	企業立地促進経費		産業振興部商工労働課		課長 前川 博善 0595-22-9669				
事務事業の概要	対 象	立地企業、事業者								
	目 的	企業を誘致し、税収を上げるとともに、地域の雇用の安定を図る。								
	根拠法令等	工場立地法、伊賀市工場誘致条例								
	内 容	・企業誘致アンケートの実施 国内約4,000社に企業誘致アンケートを送付し、有意回答のあった企業を訪問し、南部丘陵地の計画や当市に立地した場合の優遇策などについて説明しました。 ・工場誘致条例の奨励金交付 工場誘致条例に基づく奨励金を交付しました。 用地取得助成 3件 19,182,500円 立地奨励金 13件 68,412,225円 雇用促進奨励金 2件(12名) 1,440,000円								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	旅費		32,490円		企業訪問 職員旅費					
	需用費		143,841円		消耗品費 139,634円					
					燃料費 4,207円					
	役務費		136,994円		企業誘致アンケート返信郵送代 10,494円					
					企業誘致アンケート調査対象企業抽出業務手数料 126,500円					
	負担金、補助及び交付金		89,334,725円		三重TLO特別会員負担金 300,000円					
					工場誘致条例による奨励金 89,034,725円					
					用地取得助成 3件 19,182,500円					
					立地奨励金 13件 68,412,225円					
					雇用促進奨励金 2件(12名) 1,440,000円					
	計		89,648,050円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		0	0	0			
			地方債		0	0	0			
			その他		0	0	0			
			一般財源		99,280	90,772	89,649	53,058		
		合計(A)		99,280	90,772	89,649	53,058			
		人件費	正規職員	業務量	0.70 人	0.70 人	0.55 人	0.55 人		
				人件費	5,468	5,435	4,271	4,256		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		5,468	5,435	4,271	4,256		
			合計(A+B)		104,748	96,207	93,920	57,314		
	市民1人当たりのコスト(円)		1,157	1,078	1,053	653				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	優遇措置等説明企業数		アンケート有意企業への訪問数、説明数		件	目標	10	10	10	10
						実績	8			
	指標化できない成果				達成	80.0%				
方向	充実	課題	現在、たちまち紹介できる用地がなく、問い合わせがあっても誘致できない。 他自治体との競合になった場合、優遇措置の差で見劣りすることがあり得る。							
		改善案	Ⅰ. 企業用地整備課と連携しながら南部丘陵地に計画している新たな産業用地へ立地いただく企業を発掘する。 Ⅱ. 伊賀市の優遇措置について、現在の当市の状況及び周辺自治体の同様の施策等と対比するとともに、立地企業からのニーズも考慮したうえでより時代に即したものになるよう、工場誘致条例の改正の検討を行う。							

整理番号		(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)03中心市街地等商店街活性化事業							決算書頁									
319 -									269									
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業										
	施策	3-5	商工業・産業立地			H16 年度～	R6 年度	01-07-01-02-03-01										
	基本事業	①	商工業の活性化			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先									
	事務事業名	中心市街地等商店街活性化事業			産業振興部商工労働課		課長 前川 博善 0595-22-9669											
事務事業の概要	対 象	中心市街地等の商店及び商店街、上野商工会議所、まちづくり伊賀上野等																
	目 的	商店街などの誘客活動を支援することで、中心市街地における歩行者等の通行量を増加させ、にぎわい回復を目指します。																
	根拠法令等																	
	内 容	各商店街等が実施するにぎわい創出に繋がる事業に対し支援を行いました。 1. 伊賀上野まちなかゼミナール開催事業 専門店の店主が講師となり、お店ならではの情報や技術、知識など講座形式で消費者に伝え誘客に繋げる参加(受講)者数:105人、開催店舗数:12事業所(18講座) 2. 銀座商店街賑わい創出事業 クリスマス、初えびす等のイベント開催による年間を通じた商店街の賑わい創出 3. 灯りの芭蕉路事業 コロナ禍で例年実施事業を中止。灯り事業とエリアマップの作成による中心市街地回遊の促進と商店会の活性化 4. 伊賀上野・まち百貨店事業 月に一度各個店で催しを開催し、街歩きと買い物を促進 参加者数:1,905人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、にぎわいフェスタ等の事業が中止となりました。																
	事業に要した 主な経費 など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr><tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td>961,632円</td><td>伊賀上野まちなかゼミナール開催事業補助金 221,010円 銀座商店街賑わい創出事業補助金 388,500円 灯りの芭蕉路事業補助金 52,122円 伊賀上野・まち百貨店事業補助金 300,000円</td></tr><tr><td>計</td><td>961,632円</td><td></td></tr></table>									経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	961,632円	伊賀上野まちなかゼミナール開催事業補助金 221,010円 銀座商店街賑わい創出事業補助金 388,500円 灯りの芭蕉路事業補助金 52,122円 伊賀上野・まち百貨店事業補助金 300,000円	計	961,632円
経費	金額	摘要																
負担金、補助及び交付金	961,632円	伊賀上野まちなかゼミナール開催事業補助金 221,010円 銀座商店街賑わい創出事業補助金 388,500円 灯りの芭蕉路事業補助金 52,122円 伊賀上野・まち百貨店事業補助金 300,000円																
計	961,632円																	
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)										
			国県支出金	0	0	0	0											
			地方債	0	0	0	0											
			その他	0	1,150	0	1,150											
			一般財源	838	1,850	962	1,850											
		合計(A)	838	3,000	962	3,000												
		人件 費	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.25 人				0.25 人							
				人件費	2,734	2,718	1,941				1,935							
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人				0.00 人							
				人件費	0	0	0				0							
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人				0.00 人							
				人件費	0	0	0				0							
	小計(B)		2,734	2,718	1,941	1,935												
合計(A+B)	3,572	5,718	2,903	4,935														
市民1人当たりのコスト(円)	40	65	33	57														
指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度										
	目標達成事業数	補助団体が補助金の交付申請時に各自設定する目標を達成した事業数	件	目標	4	7	7	7										
				実績	1													
	指標化できない成果			達成	25.0%													
方向	改善	課題	中心市街地等のにぎわい創出のために必要な事業であるが、数年間同じ内容の事業がある。															
		改善案	I・II. 補助事業を行う団体に対し、事業内容や方法について指導を行ってきたが、補助申請団体が事業の目標値を設定する際には、量よりも質を意識し、時代やニーズに合った事業を実施していただくよう、徹底した指導を行う。															

整理番号		(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)04交流促進施設維持管理経費							決算書頁				
320 -									269				
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業					
	施策	3-5	商工業・産業立地			H16 年度～ R6 年度		01-07-01-02-04-01					
	基本事業	①	商工業の活性化			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先				
	事務事業名	交流促進施設維持管理経費			産業振興部商工労働課		課長 前川 博善 0595-22-9669						
事務事業の概要	対 象	道の駅あやま利用者											
	目 的	道の駅の利用者に対し、地域情報を提供するとともに、地域産業の振興を図る。											
	根拠法令等	伊賀市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例											
	内 容	阿山交流促進施設(道の駅あやま)の運営、施設及び設備の維持管理を行うため、阿山物産振興協同組合へ指定管理を行いました。 【指定管理内容】 道の駅利用者に対し、地域情報や道路情報等を提供するとともに、トイレ等の休憩施設の提供を行いました。											
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要							
	需用費		356,950円		消耗品費(AED関係) 57,200円 修繕料(浄化槽陸上ブローア修理) 299,750円								
	委託料		3,564,815円		阿山交流促進施設指定管理料								
	備品購入費		176,000円		AED本体								
	負担金、補助及び交付金		50,000円		中部ブロック「道の駅」連絡会会費								
			20,000円		全国「道の駅」連絡会会費								
	計		4,167,765円										
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算		R3年度当初予算		R3年度決算		R4年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金		0		0		0		0		
			地方債		0		0		0		0		
			その他		0		0		0		0		
			一般財源		3,737		4,052		4,168		4,478		
		合計(A)		3,737		4,052		4,168		4,478			
		人件費	正規職員	業務量	0.17 人	0.17 人	0.10 人	0.10 人					
				人件費	1,328	1,320	777	774					
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
				人件費	0	0	0	0					
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
				人件費	0	0	0	0					
			小計(B)		1,328		1,320		777		774		
			合計(A+B)		5,065		5,372		4,945		5,252		
		市民1人当たりのコスト(円)		56		61		56		60			
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	施設利用者数		施設全体の利用者数(推計値) ※物産コーナー利用者×4人		人	目標	220,000	220,000	220,000	220,000			
						実績	176,000						
	指標化できない成果				達成	80.0%							
方向	継続	課題	・平成15年に施設が開設した当時から約20年が経過し、老朽化している。 ・阿山ふるさとの森公園など周辺施設との一体的利用ができていない。										
		改善案	I・II. 阿山ふるさとの森公園および周辺公共施設民間活用事業のもと、近隣の集客施設との連携を深めるとともに周辺施設との一体的な管理手法等の検討を進める。										

整理番号		(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)05産学官連携研究開発拠点運営経費							決算書頁	
321 -									269	
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-6	就業・起業			H21	年度～	R6	年度	01-07-01-02-05-01
	基本事業	②	創業支援			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	産学官連携研究開発拠点運営経費			産業振興部商工労働課		課長 前川 博善 0595-22-9669			
事務事業の概要	対 象	伊賀地域で起業を考えている個人及び2次創業を考えている法人								
	目 的	地域資源の活用による地域産業の活性化と新産業の創出								
	根拠法令等									
	内 容	・市内外事業者等7件の共同研究・技術相談を実施したほか、理科教育振興のための出前授業実践など、地域産業の活性化とともに次世代の育成に取り組みました。 ・小学生を対象としたこども大学を年2回開催し、理科系人材育成に向けた理科実験授業を行いました。 第22回・第23回: 参加人数ともに約40名 ・新規創業者や経営者等を対象に情報交流カフェオンラインセミナーを開催しました。 ・三重大学産学官連携セミナー in 伊賀(オンライン)を開催しました。 ・インキュベーションマネージャーを1名配置し、創業・起業等の相談・訪問を約280件行いました。 ・インキュベーション室への新規入居が1件あり、インキュベーションマネージャーによる創業や経営についてのアドバイスを随時行いました。現在の入居数: 5件(4部屋3ブース中)								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	使用料及び賃借料		984,000円		産学官連携研究開発拠点駐車場借上料					
	負担金、補助及び交付金		16,787,682円		産学官連携研究開発拠点運営補助金					
	計		17,771,682円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		0	0	0	0		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		0	0	0	0		
			一般財源		17,601	18,099	17,772	18,391		
		合計(A)		17,601	18,099	17,772	18,391			
		人件費	正規職員	業務量	0.36 人	0.36 人	0.20 人	0.20 人		
				人件費	2,812	2,796	1,553	1,548		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		2,812	2,796	1,553	1,548		
			合計(A+B)		20,413	20,895	19,325	19,939		
	市民1人当たりのコスト(円)		226	235	217	228				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	共同研究の成立数		件	目標	10	10	10	10		
				実績	7					
	指標化できない成果			達成	70.0%					
方向	継続	課題	・市民や市内企業に取り組み内容が認知されていない。 ・設備や研究機器が老朽化している。							
		改善案	I・II. 施設の概要や取り組み内容について、市内企業や市民に積極的に周知を行う。 経費の抑制を図るとともに、当該施設における各種事業への参加者を増やし、施設利用の促進を図る。 時代に即した研究機器の導入や既存の研究機器の活用法について検討する。 ゆめテクノ伊賀の今後のあり方について三重大学や関係機関とともに検討を進める。							

整理番号							決算書頁			
322 -		(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)06営業本部活動事業					269			
基本情報		コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-5	商工業・産業立地		R2 年度～ R6 年度		01-07-01-02-06-02			
	基本事業	①	商工業の活性化		担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	伊賀ブランド促進事業		産業振興部商工労働課		課長 前川 博善 0595-22-9669				
事務事業の概要	対 象	関係団体及び事業者								
	目 的	伊賀産品および事業者を伊賀ブランドとして認定し地域内外に発信することにより、地域づくりと産業活性化を図る。								
	根拠法令等									
	内 容	【伊賀ブランド推進事業】 ・伊賀ブランド認定について、令和3年度は4事業者4産品を新たに認定しました、また、32事業者48産品の認定更新を行いました。現在57事業者97産品認定されています。 ・伊賀ブランド推進協議会や伊賀ブランド振興会(事業者が組織する団体)と連携し、創造社デザイン専門学校の学生に協力をいただき、伊賀ブランド専用包装紙のデザインを行いました。また、認定品パンフレット改刷(8,000冊)、ロゴマークシールの発行などを行いました。 【伊賀ブランド活用事業】伊賀ブランド推進協議会に委託を行い、以下の事業を実施しました。 ・ECサイトを活用した伊賀ブランド認定品等の地場産業のプロモーションとして、専用包装紙の作成、送料無料キャンペーンを行いました。 ・PR用のプロモーション動画(日本語版・英語版)を作成しました。 ・認定品パンフレットの英語版(2,000冊)を作成しました。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、物産展・イベント等の実施ができませんでしたが、オンラインストアを用いたキャンペーンを実施するなど、コロナ禍でも効果が見込める事業を実施しました。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	委託料		2,073,500円		伊賀ブランド活用事業委託料					
	負担金、補助及び交付金		2,500,000円		伊賀ブランド推進事業費補助金					
	計		4,573,500円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		2,287	2,287	2,287	4,417		
			地方債		0	0				
			その他		1,834	4,334		1,196		
			一般財源		2,287	2,287	2,287	4,418		
		合計(A)		6,408	8,908	4,574	10,031			
		人件費	正規職員	業務量	0.62 人	0.62 人	0.40 人	0.40 人		
				人件費	4,843	4,814	3,106	3,095		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		4,843	4,814	3,106	3,095		
			合計(A+B)		11,251	13,722	7,680	13,126		
	市民1人当たりのコスト(円)		125	154	87	150				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	伊賀ブランドオンラインストアの年間売上高		伊賀ブランドオンラインストアの年間売上高		円	目標	1,000,000	1,200,000	1,400,000	1,600,000
						実績	572,402			
	指標化できない成果					達成	57.2%			
方向	継続	課題	伊賀ブランドの知名度アップおよび認定事業者の事業意欲向上が課題である。							
		改善案	Ⅰ. ターゲットを設定した効果的なPRを行う。 Ⅱ. 事業者のPR・販売意欲にバラツキがあるため、伊賀ブランド推進協議会と積極的な連携を行い、認定事業者自らの力でブランド事業を行う意欲を醸成するためのサポートを行っていく。							

整理番号							決算書頁			
323 -		(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)01観光振興経費					271			
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-1	観光			H16 年度～ R6 年度	01-07-01-03-01-04			
	基本事業	①	観光誘客と情報発信			担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先		
	事務事業名	観光情報等発信経費			総務部秘書課		課長 森 健至 0595-22-9600			
事務事業の概要	対 象	国内・外の観光客、食材扱い業者								
	目 的	伊賀市の観光地や特産品などの情報を広く発信し、観光客増加、特産品の市外への販路を拡大する。								
	根拠法令等	観光振興ビジョン、シティプロモーション指針								
	内 容	トップセールスによる誘客及び「伊賀市」「伊賀産(いがもの)」のPR活動を行いました。 1. 観光誘客のためのPR活動 「伊賀流忍者」「伊賀上野城」「俳聖松尾芭蕉生誕の地」のPR ・首都圏(上野恩賜公園)及び大阪(天神橋筋)における「伊賀上野NINJAフェスタ」への誘客活動→コロナ禍により中止 ・伊賀流忍者のPR(日本忍者協議会、忍びの里伊賀甲賀忍者協議会、三重大学伊賀連携フィールド)→コロナ禍により中止 ・テレビへの出演 ・台湾台東県でのカンファレンスで市長がビデオ収録による講演を行い、SNSを通じて台東県からも伊賀市を世界に発信 2. 伊賀産(いがもの)の販売と販路拡大のためのPR活動 「伊賀牛」「伊賀米」「伊賀酒」「伊賀焼」など伊賀の特産品のPR ・首都圏における食材フェア・交流会でのトップセールス→コロナ禍により中止 ・市外イベントや市外からの表敬訪問者、全国大会等出場者等への記念品の配布 3. 地域振興のためのトップセールス ・企業、省庁訪問								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	旅費		227,764円		地域振興(東京 計5件)					
	需用費		476,471円		消耗品費(PR用記念品等購入)					
	計		704,235円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		0	0	0	350		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		0	0	0	0		
			一般財源		592	1,368	704	1,016		
		合計(A)		592	1,368	704	1,366			
		人件費	正規職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人		
				人件費	157	156	156	155		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.20 人	0.20 人		
				人件費	0	0	320	324		
			小計(B)		157	156	476	479		
			合計(A+B)		749	1,524	1,180	1,845		
	市民1人当たりのコスト(円)		9	18	14	22				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	伊賀市の認知度		地域ブランド調査による伊賀市の認知度のスコアから、トップセールスの効果を表す。		位	目標	200	200	190	180
						実績	210			
	指標化できない成果					達成	95%			
方向	継続	課題	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、市長のトップセールスの機会が限定されている状況にある。							
		改善案	今後、感染症の収束状況に注視しながら、市外へ出向いてのトップセールスに加え、オンラインなどでDXを活用した発信にも取り組んでいく。							

整理番号							決算書頁												
324 -		(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)01観光振興経費					271												
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業												
	施策	3-1	観光			H30 年度～ R3 年度	01-07-01-03-01-07												
	基本事業	①	観光誘客と情報発信			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先										
	事務事業名	忍者市プロジェクト事業			産業振興部観光戦略課		課長 川部 千佳 0595-22-9670												
事務事業の概要	対 象	観光客、市民																	
	目 的	「忍者」を入り口・切り口として当市の地域資源を効果的にプロモーションするとともに、受け入れ体制の充実を図る。																	
	根拠法令等																		
	内 容	■にぎわい忍者回廊民間活力導入支援業務委託料 中心市街地のにぎわい創出に向けて、上野公園から城下町エリア(忍者体験施設周辺)を結ぶ導線を「にぎわい忍者回廊」と位置づけ、エリア内の公共施設や民間施設の一体的な利活用について民間活力を導入し、PFI方式による施設整備(忍者体験施設整備:周辺エリアを包括的に捉えたエリアマネジメントによるまちめぐり拠点及び観光まちづくり拠点の整備)推進しており、令和3年度は次の取組みを実施した。 ・公民連携事業スキームの設計や性能発注に基づく業務要求水準書の作成、また、募集要領の作成、募集までのPFI法に基づいて実施するための専門的な一連の業務を(株)テイクコへ委託し、事業推進を図った。 ■観光誘客促進事業委託料 令和3年度忍者の日プロモーション業務として、2022年2月22日は日付に2が並ぶ特別な「忍者の日」に忍者市の認知度の向上並びに市民の観光に関する理解及びシビックプライド醸成を図るため次の事業を実施した。 (1)楽曲「Ninja」オリジナルPV(KENTO×忍者市バージョン)の制作、(2)市民を対象としたダンスワークショップの開催、(3)忍者の日ライブパフォーマンスの実施及びライブ配信																	
	事業に要した 主な経費 など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr><tr><td>需用費</td><td>37,400円</td><td>忍者の日ポスター・パネル印刷費</td></tr><tr><td>委託料</td><td>21,208,000円</td><td>にぎわい忍者回廊民間活力導入支援業務委託料 16,258,000円 観光誘客促進事業委託料 4,950,000円</td></tr><tr><td>計</td><td>21,245,400円</td><td></td></tr></table>							経費	金額	摘要	需用費	37,400円	忍者の日ポスター・パネル印刷費	委託料	21,208,000円	にぎわい忍者回廊民間活力導入支援業務委託料 16,258,000円 観光誘客促進事業委託料 4,950,000円	計	21,245,400円
経費	金額	摘要																	
需用費	37,400円	忍者の日ポスター・パネル印刷費																	
委託料	21,208,000円	にぎわい忍者回廊民間活力導入支援業務委託料 16,258,000円 観光誘客促進事業委託料 4,950,000円																	
計	21,245,400円																		
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)											
			国県支出金	14,728	12,543	10,604	30,863												
			地方債	0	0	0	11,500												
			その他	0	9,542	8,129	15,256												
			一般財源	16,219	3,361	2,512	5,916												
		合計(A)	30,947	25,446	21,245	63,535													
		人件費	正規職員	業務量	1.83 人	0.99 人	1.50 人		人										
				人件費	14,295	7,687	11,646		0										
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人										
				人件費	0	0	0		0										
	会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人												
人件費		0	0	0	0														
小計(B)	14,295	7,687	11,646	0															
合計(A+B)	45,242	33,133	32,891	63,535															
市民1人当たりのコスト(円)			500	372	369	724													
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度									
	市の認知度	地域ブランド調査(全国1,000市町村を対象としたランキング)		位	目標	200	190	180	170										
					実績	210													
	指標化できない成果				達成	95.24%													
方向	充実	課題	・にぎわい忍者回廊PFI事業は、事業者選定、事業契約、事業開始に至るまで様々な合意が必要となるため、円滑かつ効率的な事業推進に向け、関係部局がより一層連携して取り組む必要がある。 ・忍者の聖地としてのブランディング及びその情報発信をより効果的に行う必要がある。																
		改善案	・議会や市民に対して、PFIの制度を含め事業の進捗について丁寧に説明する。 ・デジタル社会の発展に沿ったSNS等の活用を通じた更なる情報発信の充実を図る。																

整理番号							決算書頁		
325 -		(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)01観光振興経費					271		
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-1	観光			R3 年度～ R3 年度	01-07-01-03-01-08		
	基本事業	②	観光客の受け入れ			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	観光振興管理経費			産業振興部観光戦略課		課長 川部 千佳 0595-22-9670		
事務事業の概要	対 象	観光客							
	目 的	観光施設の適正な維持管理を行うとともに、テーマや地域に関連する広域観光を推進することにより観光客の増加を図る。							
	根拠法令等								
	内 容	◇「伊賀忍者・甲賀忍者」の日本遺産認定を活用するため、伊賀市・甲賀市、両市の観光協会で構成する忍びの里伊賀甲賀忍者協議会に参画し、人材育成事業としてガイド育成講座の実施、普及啓発事業として忍びの里サイクリングコース設定事業に取り組んだ。 ・ガイド育成講座：2回、サイン整備：2箇所、サイクリングパンフレット：10,000部作成、英語版パンフレット増刷：5,000部 ◇伊賀地域にある忍者という観光資源を貴重な地域資源と位置づけ、観光振興を図ることを目的に伊賀市・名張市・三重県・三重県及び両市の観光協会で構成する伊賀流忍者観光推進協議会に参画しホームページのリニューアルやパンフレットの増刷等に取り組んだ。 ・英語版パンフレットの増刷：3,000部、忍者イベント事業：イオンモール京都桂川、体験コーナー参加者1,052人 ◇老朽化した観光案内看板等を計画に基づき撤去した。							
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要			
	修繕料		2,940,300円		だんじり会館冷水発生器修繕 1,853,500円ほか				
	委託料		42,078,365円		だんじり会館指定管理料 24,841,000円 観光案内所業務委託料 7,852,615円 地域おこし企業人等活動支援事業委託料 4,795,000円ほか				
	負担金、補助及び交付金		9,441,000円		地域おこし企業人事業負担金 5,592,000円 忍びの里伊賀甲賀忍者協議会負担金 1,500,000円 三重県観光連盟負担金 802,000円ほか				
	その他経費		3,463,377円		土地建物借上料 615,516円 工作物等撤去工事費 511,500円ほか				
	計		57,923,042円						
全体コスト（千円）	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		国県支出金		1,415	645	508			
		地方債		0	0	5,300			
		その他		32,583	32,704	36,629			
		一般財源		25,479	24,574	18,477			
		合計(A)	0	59,477	57,923	60,914			
	人件費	正規職員	業務量	人	人	1.80 人	人	【国県支出金】 ・地方創生推進交付金 645,000円 【その他】 ・観光振興基金利子 498,815円 ・観光振興基金運用収入 308,169円 ・寄附金 43,440円 ・伊賀市新型コロナウイルス感染症対策基金繰入金 1,853,500円 ・ふるさと応援基金繰入金 30,000,000円 (一般財源のうち) ・特別交付税措置対象 9,887,000円	
		再任用職員	業務量	人	人	人	人		
			人件費	0	0	0	0		
		会計年度任用職員	業務量	人	人	0.75 人	人		
			人件費	0	0	1,197	0		
		小計(B)		0	0	15,173	0		
		合計(A+B)		0	59,477	73,096	60,914		
	市民1人当たりのコスト(円)		0	667	819	694			
	指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
来訪者の満足度		DMOの来訪者アンケート(5段階評価の5大変満足と回答した人の割合)	%	目標	54	56	58	60	
				実績	51.94				
指標化できない成果		観光関連の経済効果		達成	96.19%				
方向	継続	課題	・施設の老朽化が進んでいるため、指定管理施設等の維持管理について検討が必要。						
		改善案	・計画的に優先順位をつけて施設の修繕を進めるため利活用計画の更新を進める。						

整理番号							決算書頁			
326 -		(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大)01観光振興経費					271			
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大)事業-中)事業			
	施策	3-1	観光			R3 年度～ R3 年度	01-07-01-03-01-09			
	基本事業	②	観光客の受け入れ			部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	観光地域づくり支援事業			担当 部署	産業振興部観光戦略課		課長 川部 千佳 0595-22-9670		
事務事業の概要	対 象	観光客、観光客を受け入れようとする市民(団体)								
	目 的	地域資源の観光商品化及び観光客を受け入れる組織の育成、市内に滞在・周遊してもらえる商品の開発と情報発信を行い観光客の増加を図る。								
	根拠法令等									
	内 容	◇伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」の開催支援 地域全体で観光客を受け入れる態勢づくりのため観光客を受け入れる事業主体の発掘及び育成事業として伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」を実施。また、スピンオフ企画として「真夏のスイーツ巡り」を実施した。 真夏のスイーツ巡りプログラム数 13個 508人、いがぶら2021 プログラム数 61個 1,149人 ◇観光地域づくり法人(DMO)を中心に多様な主体が連携・協力し、施策づくりや情報発信をはじめ、観光を産業として確立すべく、総合的な観点から観光まちづくりを推進した。①人材育成事業「観光まちづくり企画塾」観光コンテンツ開発(3件)、新しいお土産物開発(4件)、SNS等での情報発信に取組んだ。(企画塾参加者36名)、②城下町デジタルテーマパーク事業、③教育旅行3.0事業、私立向け3泊4日プログラムと近隣公立向けショートプログラムを9件作成、④「忍びの里伊賀」創生観光コンテンツ作成・磨き上げ事業、⑤情報発信(新しいパンフレットの作成)ペットと楽しむ伊賀散歩 2022(R4)年3月10日発行(30,000部)、⑥デジタルマーケティング導入支援事業、Googleビジネスプロフィールの導入・活用支援(25施設・事業者) ◇NINJAフェスタについては、コロナウイルスの影響により計画していたイベントは開催前に中止となった。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	負担金、補助及び交付金		24,456,111円		いがぶら実行委員会負担金 5,300,000円 DMO形成支援負担金 3,000,000円 伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会負担金 283,111円 DMO事業推進負担金 15,873,000円					
	計		24,456,111円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国庫支出金			12,336	12,087	13,259		
			地方債			0	0	0		
			その他			1,655	283	10,609		
			一般財源			12,430	12,086	2,741		
		合計(A)		0	26,421	24,456	26,609			
		人件費	正規職員	業務量	人	人	2.50 人	人		
				人件費	0	0	19,410	0		
			再任用職員	業務量	人	人	人	人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	人	人	1.00 人	人		
				人件費	0	0	1,596	0		
			小計(B)		0	0	21,006	0		
		合計(A+B)		0	26,421	45,462	26,609			
	市民1人当たりのコスト(円)		0	296	510	304				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	観光消費額		三重県観光レクリエーション入込客数推計所:伊賀地域の観光客の消費単価(宿泊・日帰りの平均)		円	目標	12,154	13,188	14,222	15,257
						実績	11,827			
	指標化できない成果					達成	97.3%			
方向	継続	課題	観光コンテンツとして実際に観光客が利用・購入するところまで完全に至っていないケースが多い。							
		改善案	持続可能な事業内容や組織の在り方について検討する。							

整理番号							決算書頁																																																
327 -		(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)02観光施設維持管理事業					273																																																
基本情報		コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業																																																
	施策	3-1	観光		H16 年度～ R6 年度		01-07-01-03-02-01																																																
	基本事業	②	観光客の受け入れ		担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先																																															
	事務事業名	観光施設維持管理事業		伊賀支所振興課		課長 前川 一幸 0595-45-9111																																																	
事務事業の概要	対 象	観光客																																																					
	目 的	観光施設の維持管理により、観光客が気持ちよく利用できる環境づくりを行う。																																																					
	根拠法令等																																																						
	内 容	主な観光施設の維持管理(草刈、休憩所等の管理、トイレ清掃・浄化槽点検)業務の委託を行いました。 観光施設維持管理業務委託料内訳 ・余野公園・奥余野森林公園管理業務委託(委託先:余野公園管理協力会) ・余野公松枯伐採業務委託(委託先:伊賀森林組合) ・霊山周辺施設の維持管理業務委託(委託先:霊山保勝会、首藤香一) ・白藤滝周辺施設の維持管理業務委託(委託先:白藤滝保勝会) ・道路公園管理業務委託(委託先:出後区、千戸区、畑村区) ・猿蓑塚施設維持管理業務委託(委託先:上阿波区) ・ふるさと公園管理維持管理業務委託(委託先:青山老人クラブ連合会) ・青山高原山頂小屋維持管理委託(委託先:(公社)伊賀市シルバー人材センター) ・桜山公園維持管理委託(委託先:桜山公園管理委員会) ・尼ヶ岳トイレ清掃委託(委託先:高尾住民自治協議会) ・兼好塚維持管理委託(委託先:種生区)																																																					
	事業に要した 主な経費 など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th colspan="2">摘要</th></tr><tr><td>需用費</td><td>1,494,075円</td><td>消耗品費(伊19,797 大4,224 青23,134)</td><td>47,137円</td></tr><tr><td></td><td></td><td>燃料費(伊24,916 青27,281)</td><td>52,197円</td></tr><tr><td></td><td></td><td>光熱水費(伊406,074 大39,869 青299,943)</td><td>745,886円</td></tr><tr><td></td><td></td><td>修繕料(伊192,841 大50,000 青406,014)</td><td>648,855円</td></tr><tr><td>役務費</td><td>841,114円</td><td>伊44,435 青796,679</td><td></td></tr><tr><td>委託費</td><td>9,795,358円</td><td>施設維持管理(伊5,396,700 大180,000 青3,597,798)</td><td>9,174,498円</td></tr><tr><td></td><td></td><td>浄化槽維持管理(伊371,360 青49,500)</td><td>420,860円</td></tr><tr><td></td><td></td><td>樹木伐採等(青200,000)</td><td>200,000円</td></tr><tr><td>使用料及び賃借料</td><td>208,560円</td><td>土地建物借上(伊110,000 大77,440)</td><td>187,440円</td></tr><tr><td></td><td></td><td>機械器具借上(青21,120)</td><td>21,120円</td></tr><tr><td>計</td><td>12,339,107円</td><td colspan="2"></td></tr></table>							経費	金額	摘要		需用費	1,494,075円	消耗品費(伊19,797 大4,224 青23,134)	47,137円			燃料費(伊24,916 青27,281)	52,197円			光熱水費(伊406,074 大39,869 青299,943)	745,886円			修繕料(伊192,841 大50,000 青406,014)	648,855円	役務費	841,114円	伊44,435 青796,679		委託費	9,795,358円	施設維持管理(伊5,396,700 大180,000 青3,597,798)	9,174,498円			浄化槽維持管理(伊371,360 青49,500)	420,860円			樹木伐採等(青200,000)	200,000円	使用料及び賃借料	208,560円	土地建物借上(伊110,000 大77,440)	187,440円			機械器具借上(青21,120)	21,120円	計	12,339,107円	
経費	金額	摘要																																																					
需用費	1,494,075円	消耗品費(伊19,797 大4,224 青23,134)	47,137円																																																				
		燃料費(伊24,916 青27,281)	52,197円																																																				
		光熱水費(伊406,074 大39,869 青299,943)	745,886円																																																				
		修繕料(伊192,841 大50,000 青406,014)	648,855円																																																				
役務費	841,114円	伊44,435 青796,679																																																					
委託費	9,795,358円	施設維持管理(伊5,396,700 大180,000 青3,597,798)	9,174,498円																																																				
		浄化槽維持管理(伊371,360 青49,500)	420,860円																																																				
		樹木伐採等(青200,000)	200,000円																																																				
使用料及び賃借料	208,560円	土地建物借上(伊110,000 大77,440)	187,440円																																																				
		機械器具借上(青21,120)	21,120円																																																				
計	12,339,107円																																																						
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																																															
			国県支出金	2,469	2,469	2,469	2,107																																																
			地方債																																																				
			その他																																																				
			一般財源	9,580	9,912	9,870	9,815																																																
		合計(A)	12,049	12,381	12,339	11,922	【国県支出金】 県支出金 商工費委託金 ふるさと公園維持管理委託金																																																
		人件費	正規職員	業務量	0.47 人	0.46 人		0.46 人	0.45 人																																														
				人件費	3,672	3,572		3,572	3,482																																														
			再任用職員	業務量	人	人		人	人																																														
				人件費	0	0		0	0																																														
			会計年度任用職員	業務量	人	人		人	人																																														
				人件費	0	0		0	0																																														
		小計(B)	3,672	3,572	3,572	3,482																																																	
		合計(A+B)	15,721	15,953	15,911	15,404																																																	
市民1人当たりのコスト(円)			174	179	179	176																																																	
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																																													
	委託者との運営協議回数		各施設において、委託者と施行運営において協議を行なった回数(各施設毎)		回	目標	4	4	4	4																																													
						実績	4																																																
	指標化できない成果		施設の環境整備			達成	100%																																																
方向	継続	課題	市外、県外の観光客を増やし、施設の利活用を高め、施設の価値を高める。																																																				
		改善案	上記委託の観光地をPRし、伊賀市の自然をもっと知ってもらう。																																																				

整理番号							決算書頁			
328 -		(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)02観光施設維持管理事業					273			
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-1	観光			H16 年度～ R6 年度	01-07-01-03-02-02			
	基本事業	②	観光客の受け入れ			部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	東海自然歩道管理経費			担当 部署	伊賀支所振興課		課長 前川 一幸 0595-45-9111		
事務事業の概要	対 象	東海自然歩道								
	目 的	東海自然歩道を保全する。								
	根拠法令等									
	内 容	県から委託を受けた東海自然歩道区間のパトロールと除草作業について、当該地区に委託を行いました。 ・パトロール業務委託業務 委託区間53.6km 4地区(2回×2人) ・清掃草刈業務委託 草刈実施区間25.2km×2巡 (伊賀6.5km、阿山3.7km、大山田6.9km、青山8.1km) ・便所清掃業務 3箇所(浄化槽管理及びし尿汲取りについては業者委託)								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	委託料		1,477,120円		東海自然歩道維持管理業務委託料 伊賀地区 544,480円 阿山地区 114,980円 大山田地区 466,470円 青山地区 351,190円					
	手数料		247,035円		新大仏寺し尿汲取り業務等					
	その他事務経費		84,537円		消耗品費(大1,688) 光熱水費(伊82,849)					
	計		1,808,692円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	【国県支出金】 県支出金 商工費委託金 東海自然歩道管理委託金		
			国県支出金	1,195	1,104	1,104	1,104			
			地方債							
			その他							
			一般財源	816	746	704	864			
		合計(A)	2,011	1,850	1,808	1,968				
		人件費	正規職員	業務量	0.23 人	人	0.01 人		0.10 人	
				人件費	1,797	0	78		774	
			再任用職員	業務量	人	0.10 人	0.10 人		人	
				人件費	0	354	354		0	
			会計年度任用職員	業務量	人	人	人		人	
				人件費	0	0	0		0	
			小計(B)		1,797	354	432		774	
			合計(A+B)		3,808	2,204	2,240		2,742	
	市民1人当たりのコスト(円)		43	25	26	32				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	パトロール回数		各地区において、巡回パトロールを行った件数		件	目標	4	4	4	4
						実績	4			
	指標化できない成果				達成	100%				
方向	改善	課題	パトロール、草刈業務などの業務委託は必要であるが、修繕など市が行えない業務についての改善策を県に要望する必要があります。							
		改善案	受託事業を解除し、パトロール、草刈業務、修繕等を県が行う。							

整理番号							決算書頁			
329 -		(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)02観光施設維持管理事業					273			
基本情報		コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-1	観光		H16 年度～ R3 年度		01-07-01-03-02-03			
	基本事業	②	観光客の受け入れ		担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	ふるさとの森公園管理費		阿山支所振興課		課長 吉岡 一 0595-43-1543				
事務事業の概要	対 象	ふるさとの森公園の利用者								
	目 的	施設利用者のニーズに沿った施設管理を行う								
	根拠法令等	阿山ふるさとの森公園条例、阿山ふるさとの森公園管理規則								
	内 容	伊賀市による直営管理を行いました。 業務内容:阿山ふるさとの森公園管理条例及び規則に基づく管理業務 施設の管理に関する業務(株式会社アーキテクトに管理運営委託) ・施設の使用許可及び利用料金に関する業務 ・施設の建物及び設備の維持管理に関する業務 阿山ふるさとの森公園周辺公共施設における公民連携事業導入支援業務委託 ・周辺施設と一体利用する公園の整備及び運営方法を公民連携による手法の検討及び調査を実施。(繰越金額 2,992,000円)								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	需用費		3,144,778円		管理用消耗品、施設光熱水費等					
	役務費		219,832円		通信運搬費等					
	委託料		6,007,870円		施設管理運営、設備保守等					
			7,073,000円		ふるさとの森公園周辺公共施設官民連携推進業務委託料					
	使用料及び賃借料		695,031円		機械器具使用料等					
	計		17,140,511円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		0	0	0	0		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		4,496	25,630	3,531	4,494		
			一般財源		8,119	6,062	13,610	7,917		
		合計(A)		12,615	31,692	17,141	12,411			
		人件費	正規職員	業務量	0.85 人	0.85 人	0.86 人	0.86 人		
				人件費	6,640	6,600	6,678	6,654		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		6,640	6,600	6,678	6,654		
			合計(A+B)		19,255	38,292	23,819	19,065		
	市民1人当たりのコスト(円)		213	429	267	218				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	観光客入込数		施設を利用した観光客数		人	目標	4000	4000	4000	4000
						実績	1908			
	指標化できない成果		施設の環境整備		達成	47.7%				
方向	民間活力導入	課題	公民連携による整備運営手法の検討を進めたがPFI事業(RO方式)としての実現可能性は低いと判断し、民間事業者による公的不動産の活用導入を進めている。							
		改善案	公民連携の手法をPFI事業から民間事業者による公的不動産の活用の導入に変更し進めている。							

整理番号		(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)04新型コロナウイルス対策費(大事業)01新型コロナウイルス対策事業						決算書頁		
330 -		業						275		
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-5	商工業・産業立地			R2 年度～ R6 年度	01-07-01-04-01-02			
	基本事業	①	商工業の活性化			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	商工振興経費			産業振興部商工労働課		課長 前川 博善 0595-22-9669			
事務事業の概要	対 象	事業者及び市民								
	目 的	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者等に対し、支援を行う。								
	根拠法令等									
	内 容	・感染防止対策店ステッカー 新型コロナウイルス感染症の対策を取っている事業所に対して貼付するステッカーを印刷しました。(102店舗に交付) ・伊賀市プレミアム付食事券発行事業 新型コロナウイルス感染症により、大きな影響を受けている飲食店で利用できる食事券を発行し、地域経済の立て直しを図りました。(延べ30,895件) ・新型コロナウイルス対策事業者応援給付金事業 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上高が減少した事業者に対し、給付金を交付し事業継続支援を行いました。(972件) ・伊賀市店舗改装促進事業補助金 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、店舗を改装したり、備品等を導入したりした事業者に補助しました。(148件) ・伊賀市地域振興券発行事業 マイナンバーカードを取得済み、もしくは期間内に取得された方に地域振興券を交付しました。(41,625件)								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	需用費		1,017,060円		感染防止対策店ステッカー印刷製本費 73,260円					
	役務費		1,958,514円		伊賀市地域振興券引換券印刷製本費 943,800円					
	負担金、補助及び交付金		522,407,633円		伊賀市地域振興券引換券料金後納郵便代 60,121,000円					
					プレミアム付食事券事業 事業費補助金(プレミアム分) 14,379,795円					
					新型コロナウイルス対策事業者応援給付金 194,400,000円					
					伊賀市店舗改装促進事業補助金 36,825,000円					
					伊賀市地域振興券事業 事業費補助金(プレミアム分) 177,352,000円					
					伊賀市地域振興券事業 事業費補助金(プレミアム分／後期) 27,735,000円					
					伊賀市地域振興券事業 事務費補助金 11,594,838円					
	計		525,383,207円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		311,751	306,702	430,961			
			地方債		0	0	0			
			その他		0	0	94,423			
			一般財源		3,615	0	0			
		合計(A)		315,366	306,702	525,384	0			
		人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	0.65 人	人		
				人件費	7,811	7,764	5,047	0		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	2.00 人	人		
				人件費	0	0	3,192	0		
			小計(B)		7,811	7,764	8,239	0		
			合計(A+B)		323,177	314,466	533,623	0		
	市民1人当たりのコスト(円)		3,569	3,523	5,979	0				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	新型コロナウイルス対策 事業者応援給付件数				件	目標	700			
						実績	972			
	指標化できない成果				達成	138.9%				
方向	縮小	課題	コロナ禍の間は商品券や食事券などを発行し一定の経済効果は図られたが、未だ従前の地域経済に戻っていないため、アフターコロナとして対策が必要になる。							
			改善案	I. 戻りきっていない景気を回復するため、単年度でプレミアム付き商品券などの消費喚起策を継続して行う。 ウィズコロナを見据えた環境整備を継続して行う。						

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)01土木管理費(目)01土木総務費(大事業)04名神名阪連絡道路整備促進事業経費							決算書頁		
331 -									277		
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	4-3	道路			R3 年度～ R6 年度		01-08-01-01-04-01			
	基本事業	①	道路			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	名神名阪連絡道路整備促進事業経費			建設部企画管理課		課長 福田 康彦 0595-22-9723				
事務事業の概要	対 象	市民									
	目 的	名神名阪連絡道路の早期実現に向けての事業促進									
	根拠法令等										
	内 容	名阪国道と名神高速道とを結ぶ道路整備の早期実現に向けた啓発活動。 当該道路の整備は、伊賀市の発展に寄与する大切な道路整備計画である。 広報活動を展開するための懸垂幕(2枚)、横断幕(5枚)、立て看板(1基)、クリアーファイル(1,000枚)、アルコールウェットティッシュ(1,000個)を制作した。									
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要					
	需用費		1,393,700円		懸垂幕 257,400円 横断幕 489,500円 立て看板 286,000円 クリアファイル 206,800円 アルコールウェットティッシュ 154,000円						
	計		1,393,700円								
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)			
			国県支出金		0	0					
			地方債		0	0					
			その他		1,500	1,394					
			一般財源		0	0					
		合計(A)	0	1,500	1,394	0					
		人件費	正規職員	業務量	人	0.54 人	0.54 人				人
				人件費	0	4,193	4,193				0
			再任用職員	業務量	人	0.00 人	0.00 人				人
				人件費	0	0	0				0
			会計年度任用職員	業務量	人	0.00 人	0.00 人				人
				人件費	0	0	0				0
			小計(B)	0	4,193	4,193	0				
			合計(A+B)	0	5,693	5,587	0				
	市民1人当たりのコスト(円)		0	64	63	0					
指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	クリアーファイル アルコールウェットティッシュ	配布(啓発)個数	個	目標	2,000	170	0	0			
				実績	1,830						
	指標化できない成果			達成	91.5%						
方向	完了	課題									
		改善案									

整理番号								決算書頁																									
332 -		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)02道路維持費(大事業)01道路維持経費						277																									
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業																									
	施策	4-3	道路			H16 年度～ R6 年度		01-08-02-02-01-01																									
	基本事業	①	道路			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先																								
	事務事業名	道路維持経費			建設部道路河川課		課長 松尾 卓哉 0595-22-9725																										
事務事業の概要	対 象	本市が所管する道路																															
	目 的	道路舗装の異常または損傷を早期に発見するとともに、計画的かつ効率的な舗装修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する																															
	根拠法令等																																
	内 容	道路を常時良好な状態に保つよう、道路舗装及び付属構造物の比較的小規模な損傷箇所について、修繕工事を行います。 また、路肩の除草、冬期には融雪剤散布等により道路機能を維持します。 管理延長 L＝約2,300km 令和3年度は、298箇所の道路修繕等を行いました。 また、市道の草刈業務委託及び雪氷対策業務委託を実施しました。																															
	事業に要した 主な経費 など	<table><thead><tr><th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr></thead><tbody><tr><td>需用費</td><td>67,052,696円</td><td>消耗品費、燃料費44地区、光熱水費 12,290,201円 修繕料(道路小修繕等298件) 54,762,495円</td></tr><tr><td>役務費、使用料及び賃借料</td><td>1,938,008円</td><td>手数料、自動車借上料等</td></tr><tr><td>委託料</td><td>103,851,973円</td><td>道路維持管理業務委託75件 15,948,474円 草刈業務委託64件 54,282,800円 街路樹管理業務委託19件 17,480,650円 融雪剤散布等業務委託114件等 16,140,049円</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td>9,113,005円</td><td>舗装補修1件、側溝・横断管等補修4件等</td></tr><tr><td>原材料費</td><td>24,280,310円</td><td>融雪剤1,980袋、生コン338.75㎡、切込碎石764.37㎡等</td></tr><tr><td>備品購入費</td><td>3,949,000円</td><td>凍結防止剤散布機2台</td></tr><tr><td>計</td><td>210,184,992円</td><td></td></tr></tbody></table>									経費	金額	摘要	需用費	67,052,696円	消耗品費、燃料費44地区、光熱水費 12,290,201円 修繕料(道路小修繕等298件) 54,762,495円	役務費、使用料及び賃借料	1,938,008円	手数料、自動車借上料等	委託料	103,851,973円	道路維持管理業務委託75件 15,948,474円 草刈業務委託64件 54,282,800円 街路樹管理業務委託19件 17,480,650円 融雪剤散布等業務委託114件等 16,140,049円	工事請負費	9,113,005円	舗装補修1件、側溝・横断管等補修4件等	原材料費	24,280,310円	融雪剤1,980袋、生コン338.75㎡、切込碎石764.37㎡等	備品購入費	3,949,000円	凍結防止剤散布機2台	計	210,184,992円
経費	金額	摘要																															
需用費	67,052,696円	消耗品費、燃料費44地区、光熱水費 12,290,201円 修繕料(道路小修繕等298件) 54,762,495円																															
役務費、使用料及び賃借料	1,938,008円	手数料、自動車借上料等																															
委託料	103,851,973円	道路維持管理業務委託75件 15,948,474円 草刈業務委託64件 54,282,800円 街路樹管理業務委託19件 17,480,650円 融雪剤散布等業務委託114件等 16,140,049円																															
工事請負費	9,113,005円	舗装補修1件、側溝・横断管等補修4件等																															
原材料費	24,280,310円	融雪剤1,980袋、生コン338.75㎡、切込碎石764.37㎡等																															
備品購入費	3,949,000円	凍結防止剤散布機2台																															
計	210,184,992円																																
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																									
			国県支出金	0	0	0	0																										
			地方債	0	0	0	0																										
			その他	6,846	37,277	3,223	40,885																										
			一般財源	198,863	167,994	206,962	158,375																										
		合計(A)	205,709	205,271	210,185	199,260																											
		人件費	正規職員	業務量	10.35 人	8.80 人	8.50 人	3.75 人																									
				人件費	80,844	68,324	65,994	29,014																									
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人																									
				人件費	0	0	0	0																									
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人																									
				人件費	0	0	0	0																									
小計(B)	80,844		68,324	65,994	29,014																												
合計(A+B)	286,553	273,595	276,179	228,274																													
市民1人当たりのコスト(円)			3,164	3,066	3,095	2,601																											
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																							
	予算に対する執行率		最終予算に対する執行率		%	目標	100	100	100	100																							
						実績	96.58																										
	指標化できない成果				達成	96.58																											
方向	継続	課題	道路インフラの老朽化や地元要望の多様化に加えて労材経費の高騰などにより維持管理コストが上がり、年々増える修繕すべき施設の管理に苦慮しています。																														
		改善案	危険度や利用度、地元要望、通学路であるなどを考慮し、安価な工法を検討するなどコスト縮減に努めつつ、施設の長寿命化に取り組みます。																														

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)01臨時地方道整備事業						決算書頁		
333 -								279		
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	4-3	道路			H16	年度～ R6 年度	01-08-02-03-01-01		
	基本事業	①	道路			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	臨時地方道整備事業			建設部道路河川課		課長 松尾 卓哉 0595-22-9725			
事務事業の概要	対 象	本市が所管する道路								
	目 的	生活道路を人や車が安全に移動することが出来るよう整備する								
	根拠法令等									
	内 容	道路を通行者が安全に安心して通行できるよう、道路改良や舗装修繕等の工事を実施します。 令和3年度は、舗装工事や歩道改良工事、道路照明灯改修工事等21件を実施しました。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	給料・需用費		3,864,073円		一般職給、消耗品費、燃料費					
	委託料		935,000円		下山田橋歩道橋 既設橋台検討業務委託					
	工事請負費		164,042,700円		下山田橋歩道橋 架設工事 21,916,400円					
					市道真泥出後線舗装工事 14,491,400円					
					市道西明寺緑ヶ丘線外1線歩道改良工事 12,806,200円					
					市道水越予野線舗装修繕工事 9,425,900円					
					市道朝神大北東線他1線舗装新設工事 8,146,600円					
					市道千歳千戸線舗装修繕工事 11,214,500円					
					市道蛇池上野公園線他2線道路照明灯修繕工事 8,838,500円					
					市道丸之内伊賀上野橋線道路照明灯修繕工事 8,448,000円					
	計		168,841,773円		その他工事13件 68,755,200円					
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		0	0	22,851	0		
			地方債		42,000	44,000	131,500	253,300		
			その他		0	32,913	6,406	12,000		
			一般財源		3,926	4,600	8,085	3,962		
		合計(A)		45,926	81,513	168,842	269,262			
		人件費	正規職員	業務量	0.55 人	1.10 人	1.40 人	1.55 人		
				人件費	4,297	8,541	10,870	11,993		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		4,297	8,541	10,870	11,993		
			合計(A+B)		50,223	90,054	179,712	281,255		
	市民1人当たりのコスト(円)		555	1,009	2,014	3,204				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算に対する執行率		最終予算に対する執行率		%	目標	100	100	100	100
						実績	100			
	指標化できない成果					達成	100			
方向	継続	課題	道路インフラについては、舗設時から年数が経過して、耐用年数が過ぎ、劣化が進行して舗装修繕が必要な路線が年々増加しています。							
		改善案	生活道路、幹線道路、通学路などの道路の用途や交通量を考慮して、緊急度や優先順位を付けて、修繕計画を立てます。							

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業							決算書頁	
334 -									279	
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	4-3	道路			H22 年度～ R3 年度		01-08-02-03-02-02		
	基本事業	①	道路			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	ゆめが丘摺見線道路改良事業			建設部道路河川課		課長 松尾 卓哉 0595-22-9725			
事務事業の概要	対 象	ゆめが丘摺見線道路								
	目 的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路として利用しやすくなるよう整備する								
	根拠法令等									
	内 容	市道四十九ゆめが丘線を起点とし、市道喰代比自岐下川原線(広域農道)につながり、ゆめが丘住宅地と摺見、青山地区を結ぶ幹線道路を新設整備します。 事業概要 延長L=1,400m、幅員W=12.0m 令和3年度は、歩道舗装工事L=485mを実施し事業を完了しました。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	給料・需用費		299,977円		一般職給、消耗品費					
	工事請負費		11,782,100円		歩道舗装新設工事1件					
	計		12,082,077円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		3,403	5,000	5,891	0		
			地方債		2,100	5,000	6,100	0		
			その他		0	0	0	0		
			一般財源		1,492	300	91	0		
		合計(A)		6,995	10,300	12,082	0			
		人件費	正規職員	業務量	0.49 人	0.55 人	0.55 人	0.00 人		
				人件費	3,828	4,271	4,271	0		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		3,828	4,271	4,271	0		
			合計(A+B)		10,823	14,571	16,353	0		
	市民1人当たりのコスト(円)		120	164	184	0				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	事業の進捗率		道路整備による作業進捗 (執行事業費/総事業費)		%	目標	100	-	-	-
						実績	100			
	指標化できない成果				達成	100				
方向	完了	課題								
		改善案								

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業							決算書頁																								
335 -									279																								
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業																									
	施策	4-3	道路			H26 年度～ R5 年度		01-08-02-03-02-04																									
	基本事業	①	道路			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先																								
	事務事業名	西明寺緑ヶ丘線道路改良事業			建設部道路河川課		課長 松尾 卓哉 0595-22-9725																										
事務事業の概要	対 象	西明寺緑ヶ丘線道路																															
	目 的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する																															
	根拠法令等																																
	内 容	国道163号線と市道荒木木興線(緑ヶ丘地内)を接続する重要な幹線道路であり、上野東部地域の南北を連絡する幹線道路として機能の整備を図ります。 事業概要 延長L=1,100m、幅員W=12.0m 令和3年度は、橋梁下部工事N=1橋、橋梁上部工事N=1橋、舗装工事L=140m、移転補償N=1件を実施しました。																															
	事業に要した 主な経費 など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr><tr><td>給料・需用費</td><td>4,357,843円</td><td>一般職給、消耗品費、燃料費、修繕料</td></tr><tr><td>役務費</td><td>94,590円</td><td>通信運搬費、手数料</td></tr><tr><td>委託料</td><td>8,712,888円</td><td>建物等調査業務委託 4,419,800円 測量業務委託等6件 4,293,088円</td></tr><tr><td>使用料及び賃借料</td><td>5,565,900円</td><td>土地建物借上料2件、仮設橋借上料</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td>160,368,200円</td><td>橋梁下部工事 34,083,400円 橋梁上部工事 73,209,400円 舗装工事2件 27,095,200円 その他工事6件 25,980,200円</td></tr><tr><td>補償、補填及び賠償金</td><td>22,517,981円</td><td>物件移転補償等</td></tr><tr><td>計</td><td>201,617,402円</td><td></td></tr></table>									経費	金額	摘要	給料・需用費	4,357,843円	一般職給、消耗品費、燃料費、修繕料	役務費	94,590円	通信運搬費、手数料	委託料	8,712,888円	建物等調査業務委託 4,419,800円 測量業務委託等6件 4,293,088円	使用料及び賃借料	5,565,900円	土地建物借上料2件、仮設橋借上料	工事請負費	160,368,200円	橋梁下部工事 34,083,400円 橋梁上部工事 73,209,400円 舗装工事2件 27,095,200円 その他工事6件 25,980,200円	補償、補填及び賠償金	22,517,981円	物件移転補償等	計	201,617,402円
経費	金額	摘要																															
給料・需用費	4,357,843円	一般職給、消耗品費、燃料費、修繕料																															
役務費	94,590円	通信運搬費、手数料																															
委託料	8,712,888円	建物等調査業務委託 4,419,800円 測量業務委託等6件 4,293,088円																															
使用料及び賃借料	5,565,900円	土地建物借上料2件、仮設橋借上料																															
工事請負費	160,368,200円	橋梁下部工事 34,083,400円 橋梁上部工事 73,209,400円 舗装工事2件 27,095,200円 その他工事6件 25,980,200円																															
補償、補填及び賠償金	22,517,981円	物件移転補償等																															
計	201,617,402円																																
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																									
			国県支出金	30,678	121,202	98,278	84,911																										
			地方債	30,700	119,900	84,860	79,900																										
			その他	0	0	0	0																										
			一般財源	849	7,336	18,479	8,109																										
		合計(A)	62,227	248,438	201,617	172,920																											
		人件費	正規職員	業務量	0.53 人	1.00 人	1.00 人	0.75 人																									
				人件費	4,140	7,764	7,764	5,803																									
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人																									
				人件費	0	0	0	0																									
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人																									
				人件費	0	0	0	0																									
小計(B)	4,140		7,764	7,764	5,803																												
合計(A+B)	66,367	256,202	209,381	178,723																													
市民1人当たりのコスト(円)			733	2,871	2,346	2,036																											
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																							
	事業の進捗率		道路整備による作業進捗 (執行事業費/総事業費)		%	目標	90	99	100																								
						実績	90																										
	指標化できない成果		国の交付金交付状況により、目標値の見直しが必要です。			達成	100																										
方向	継続	課題	重要な幹線道路であるうえに、消防署の緊急出動ルートとしても早期完成が望まれています。また全国的な傾向として、国の交付金充当率が十分に見込めず、計画通りの進捗が困難です。																														
		改善案	県内他市町村との交付金流用や、国の補正予算及び予算繰越制度を効率的に活用し、予算の確保に努めます。また工事費積算時のコストの見直しと工事の早期発注を行います。																														

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業							決算書頁	
336 -									279	
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	4-3	道路			H26 年度～ R6 年度		01-08-02-03-02-05		
	基本事業	①	道路			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	依那古友生線他1線道路改良事業			建設部道路河川課		課長 松尾 卓哉 0595-22-9725			
事務事業の概要	対 象	依那古友生線他1線道路								
	目 的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する								
	根拠法令等									
	内 容	農免道路からゆめが丘住宅地南西端へ通じる舗装幅員3mの見通しの悪い狭小な道路であるため危険であり、車両の対向に苦慮しています。対面通行が出来るよう整備を行い、安全・安心に通行出来るよう整備します。 事業概要 延長L＝780m、幅員W＝7.0m 令和3年度は、道路改良工事L＝220m、道路舗装工事L＝360mを実施しました。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	給料・需用費		1,203,698円		一般職給、消耗品費、燃料費					
	役務費		89,422円		通信運搬費、手数料					
	委託料		295,900円		立木補償調査業務委託					
	工事請負費		51,031,200円		道路改良工事		33,150,700円			
					道路舗装工事		17,880,500円			
	計		52,620,220円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
			国県支出金	29,627	25,000	25,664	25,000			
			地方債	28,500	25,200	25,800	24,500			
			その他	0	0	0	0			
			一般財源	1,598	1,750	1,156	2,090			
			合計(A)	59,725	51,950	52,620	51,590			
		人件費	正規職員	業務量	0.65 人	0.60 人	0.60 人	0.65 人		
				人件費	5,078	4,659	4,659	5,030		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)	5,078	4,659	4,659	5,030			
			合計(A+B)	64,803	56,609	57,279	56,620			
	市民1人当たりのコスト(円)		716	635	642	645				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	事業の進捗率		道路整備による作業進捗 (執行事業費/総事業費)		%	目標	66	73	80	100
						実績	66			
	指標化できない成果		国の交付金交付状況により、目標値の見直しが必要です。			達成	100			
方向	継続	課題	全国的な傾向として、国の交付金充当率が十分に見込めず、計画通りの進捗が困難です。							
		改善案	県内他市町村との交付金流用や、国の補正予算及び予算繰越制度を効率的に活用し、予算の確保に努めます。また工事費積算時のコストの見直しと工事の早期発注を行います。							

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備総合交付金事業							決算書頁	
337 -									279	
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	4-3	道路			H26 年度～ R6 年度		01-08-02-03-02-07		
	基本事業	①	道路			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	舗装修繕事業			建設部道路河川課		課長 松尾 卓哉 0595-22-9725			
事務事業の概要	対 象	二車線道路及び緊急輸送道路								
	目 的	管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに計画的かつ効率的な舗装修繕を実施し道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する								
	根拠法令等									
	内 容	市が管理する市道の中で、交通量の多い生活道路や大型車の通行量が多く、舗装の損傷が著しい幹線道路について、計画的に舗装修繕を行います。 事業概要 延長L=2,500m 令和3年度は、舗装補修工事4路線、L=1,070mを実施しました。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	給料・需用費・役務費		2,275,266円		一般職給、消耗品費、燃料費、通信運搬費					
	委託料		1,884,300円		土質調査業務委託					
	工事請負費		102,960,000円		舗装修繕工事4件					
	計		107,119,566円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
			国県支出金	3,064	55,000	52,422	86,440			
			地方債	0	56,900	48,700	85,300			
			その他	7,995	0	0	0			
			一般財源	3,413	600	5,998	4,044			
		合計(A)	14,472	112,500	107,120	175,784				
		人件費	正規職員	業務量	0.52 人	1.27 人	1.17 人	0.75 人		
				人件費	4,062	9,861	9,084	5,803		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)	4,062	9,861	9,084	5,803			
			合計(A+B)	18,534	122,361	116,204	181,587			
		市民1人当たりのコスト(円)	205	1,371	1,302	2,069				
	指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業の進捗率		道路整備による作業進捗 (執行事業費/総事業費)	%	目標	14	34	42	49		
				実績	14					
指標化できない成果		国の交付金交付状況により、目標値の見直しが必要です。		達成	100					
方向	継続	課題	管内の幹線道路については、舗装路面の劣化が著しく通行に支障をきたす箇所が数多く見られますが、全国的な傾向として、国の交付金充当率が十分に見込めず、計画通りの進捗が困難です。							
	改善案	県内他市町村との交付金流用や、国の補正予算及び予算繰越制度を効率的に活用し、予算の確保に努めます。また、緊急性が高く交通量の多い主要道路から修繕工事を実施し、安全に通行出来る様進捗を図る必要があります。								

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業							決算書頁		
338 -									279		
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	4-3	道路			R2	年度～ R3 年度	01-08-02-03-02-09			
	基本事業	①	道路			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	茅町駅四十九新池線道路改良事業(繰越事業)			建設部道路河川課		課長 松尾 卓哉 0595-22-9725				
事務事業の概要	対 象	茅町駅四十九新池線道路									
	目 的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路として利用しやすくなるよう整備する									
	根拠法令等										
	内 容	市道茅町駅四十九新池線は伊賀市市街地の南東部に位置し、沿道には市庁舎や県庁舎が存在する重要な幹線道路です。 市庁舎前の交差点をラウンドアバウトにすることにより、事故削減、交通円滑化、災害時の対応力向上の効果を図ります。 事業概要 延長:南北方向にL=140m、東西方向にL=80m、中央島直径D1=11.0m、外円の直径D2=27.0m、環道幅員W=5.0m 令和3年度は、道路改良工事L=220mと道路照明や反射板等の安全施設の設置を実施しました。									
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要					
	需用費		64,350円		消耗品費						
	工事請負費		20,552,800円		道路改良工事 17,915,000円						
	負担金、補助及び交付金		10,000円		その他工事10件 2,637,800円						
					研修会等参加負担金						
	計		20,627,150円								
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)			
			国県支出金	15,648	10,035	10,035	0				
			地方債	15,500	7,700	7,700	0				
			その他	0	0	0	0				
			一般財源	825	3,244	2,892	0				
		合計(A)	31,973	20,979	20,627	0					
		人件費	正規職員	業務量	0.48 人	0.46 人	0.46 人				0.00 人
				人件費	3,750	3,572	3,572				0
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人				0.00 人
				人件費	0	0	0				0
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人				0.00 人
				人件費	0	0	0				0
			小計(B)		3,750	3,572	3,572				0
			合計(A+B)		35,723	24,551	24,199				0
	市民1人当たりのコスト(円)		395	276	272	0					
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率		道路整備による作業進捗 (執行事業費/総事業費)		%	目標	100	-	-	-	
						実績	100				
	指標化できない成果					達成	100				
方向	完了	課題									
		改善案									

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業	決算書頁
339 -		279

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	R3	年度～ R3 年度	01-08-02-03-02-11
	基本事業	① 道路	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	道路照明LED化事業		建設部道路河川課	課長 松尾 卓哉 0595-22-9725

事務事業の概要	対 象	市道四十九町ゆめが丘線他1線		
	目 的	現在ハロゲンや水銀灯となってる道路照明について、省電力・長寿命であるLED化を推進し、夜間の道路利用者の安全性を向上させる		
	根拠法令等			
	内 容	本庁の所在する四十九町とゆめが丘を結ぶ、市道四十九町ゆめが丘線及び、市道茅町駅四十九新池線に設置された道路照明灯について、節電と停電対策のため、水銀灯をLED化します。 市道四十九町ゆめが丘線 17基 市道茅町駅四十九新池線 1基		
事業に要した 主な経費 など		経費	金額	摘要
		給料・需用費	879,697円	一般職給、消耗品費
		工事請負費	14,586,000円	道路照明灯修繕工事2件
		計	15,465,697円	

		項目	R2年度決算		R3年度当初予算		R3年度決算		R4年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	国県支出金		0		9,500		7,293			0	
			地方債		0		9,400		7,100			0	
			その他		0		0		0			0	
			一般財源		0		1,080		1,073			0	
			合計(A)		0		19,980		15,466			0	
	人件費	正規職員	業務量	0.00	人	0.05	人	0.15	人	0.00		人	
			人件費	0		389		1,165		0			
		再任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00		人	
			人件費	0		0		0		0			
		会計年度任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00		人	
			人件費	0		0		0		0			
		小計(B)		0		389		1,165		0			
		合計(A+B)		0		20,369		16,631		0			
		市民1人当たりのコスト(円)			0		229		187			0	

指 標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	事業の進捗率	道路整備による作業進捗 (執行事業費/総事業費)	%	目標	100	-	-	-
				実績	100			
	指標化できない成果			達成	100			

方向	完了	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業	決算書頁
340 -		279

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	R3	年度～ R3 年度	01-08-02-03-02-12
	基本事業	① 道路	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	キッズゾーン整備事業		建設部道路河川課	課長 松尾 卓哉 0595-22-9725

事務事業の概要

対 象	保育所等の児童が通行する市道		
目 的	未就学児童の園外活動等の安全・安心を確保する		
根拠法令等			
内 容	保育所等が行う散策等の園外活動での安全を確保するため、児童が通行する頻度の高いキッズゾーン内の市道に、自動車の運転手等に注意喚起を行う路面表示を設置する。 市道市部依那古小学校線他15線に23箇所の「キッズゾーン」の表示を行った。		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要
	工事請負費	1,294,700円	16路線キッズゾーン整備工事
	計	1,294,700円	

		項目		R2年度決算		R3年度当初予算		R3年度決算		R4年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	国県支出金		0		500		647		0		
			地方債		0		0		0		0		
			その他		0		520		648		0		
			一般財源		0		0		0		0		
			合計(A)		0		1,020		1,295		0		
	人件費	正規職員	業務量	0.00	人	0.12	人	0.15	人	0.00	人		
			人件費	0		932		1,165		0			
		再任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人		
			人件費	0		0		0		0			
		会計年度任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人		
			人件費	0		0		0		0			
		小計(B)		0		932		1,165		0			
		合計(A+B)		0		1,952		2,460		0			
		市民1人当たりのコスト(円)				0		22		28			0

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	事業の進捗率	表示が必要な個所数に対する設置個所数	箇所	目標	23	-	-	-
	指標化できない成果			実績	23			
				達成	100			

方向	完了	課題	
		改善案	

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)04橋りょう維持費(大事業)04道路メンテナンス事業					決算書頁		
341 -							281		
基本情報		コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	4-3	道路		H26 年度～ R5 年度		01-08-02-04-04-01		
	基本事業	②	橋梁		担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先		
	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業		建設部道路河川課		課長 松尾 卓哉 0595-22-9725			
事務事業の概要	対 象	市道に架かる全橋梁							
	目 的	今後老朽化する道路橋の急速な増大に対応するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、道路ネットワークの安全性・信頼性の確保に努める							
	根拠法令等								
	内 容	伊賀市が管理する橋梁は約1,500橋あり、本市の幹線道路及び生活道路に架かる重要な橋梁であるため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、緊急を要する修繕が必要な橋梁について、損傷、劣化等が見受けられる箇所を修繕し、コスト縮減及び安全・安心な道路空間の整備を図ります。 令和3年度は、橋梁点検業務N＝404橋、橋梁補修詳細設計N＝15橋、15.0m以上橋梁修繕工事N＝3橋、15.0m未満橋梁修繕工事N＝18橋を実施しました。							
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要				
	需用費		1,356,433円	消耗品費、燃料費、修繕料					
	委託料		84,294,485円	橋梁修繕設計業務委託8件 35,232,340円					
				橋梁点検診断業務委託5件 49,009,345円					
				システム保守業務委託 52,800円					
	工事請負費		68,036,790円	市道佐那具波敷野線佐那具橋橋梁修繕工事 13,390,000円					
				市道佐那具外山線外山橋橋梁修繕工事 10,430,200円					
				市道余野横地野線唐川橋橋梁修繕工事 9,396,200円					
				その他橋梁修繕工事18件 34,820,390円					
	計		153,687,708円						
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金	92,042	94,233	82,674	96,809		
			地方債	51,700	48,300	47,200	45,400		
			その他	0	26,100	0	27,000		
			一般財源	24,413	2,057	23,814	8,525		
		合計(A)	168,155	170,690	153,688	177,734			
		人件費	正規職員	業務量	1.09 人	1.00 人	0.97 人		0.75 人
				人件費	8,514	7,764	7,532		5,803
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
				人件費	0	0	0		0
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
				人件費	0	0	0		0
			小計(B)	8,514	7,764	7,532	5,803		
			合計(A+B)	176,669	178,454	161,220	183,537		
		市民1人当たりのコスト(円)		1,951	2,000	1,807	2,091		
指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	橋梁修繕による作業進捗(補修完了橋梁数/補修が必要な橋梁総数)	%	目標	68	92	100	—	
				実績	68				
	指標化できない成果	橋梁点検により補修が必要な橋梁数が変化するため、年毎に目標値の見直しが必要です。		達成	100				
方向	継続	今後、老朽化する橋梁が急速に増加するため、それに伴い修繕の必要な橋梁が増え対処に苦慮していますが、全国的な傾向として、国の交付金充当率が十分に見込めず、計画通りの進捗が困難です。							
	改善案	県内他市町村との交付金流用や、国の補正予算及び予算繰越制度を効率的に活用し、予算の確保に努めます。また、安全・安心な道路空間を確保するため橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁点検及び修繕工事を計画的、効率的に実施します。							

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)04橋りょう維持費(大事業)04道路メンテナンス事業						決算書頁		
342 -								281		
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	4-3	道路			R2 年度～ R6 年度	01-08-02-04-04-02			
	基本事業	②	橋梁			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	印代山神線(山神橋)橋梁架替事業			建設部道路河川課		課長 松尾 卓哉 0595-22-9725			
事務事業の概要	対 象	市道印代山神線(山神橋)								
	目 的	山神橋の橋脚基礎部が洗堀により沈下し通行止めとなっており、修繕は不可能なため、架け替えを行う								
	根拠法令等									
	内 容	市道印代山神線の山神橋は、昭和29年に架橋され、架橋後60年以上が経過し、橋脚の基礎部が洗堀により著しく沈下したため、平成29年12月から通行止めを実施しています。老朽橋であり、修繕による機能回復は困難であるため、架け替えを行います。 事業概要 延長L=157m、新橋幅員W=10.5m 令和3年度は、山神大谷線道路概略設計業務N=2件、橋梁撤去工事(左岸側7径間)L=84mを実施しました。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	給料・需用費		3,119,713円		一般職給、消耗品費					
	委託料		2,605,900円		道路概略設計業務委託2件					
	役務費・使用料及び賃借料		6,036円		通信運搬費、有料道路通行料					
	工事請負費		59,474,400円		山神橋橋梁撤去工事2件					
	計		65,206,049円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
			国県支出金	18,044	49,372	33,784	68,898			
			地方債	16,700	35,700	23,800	66,800			
			その他	0	0	0	0			
			一般財源	18,971	11,043	7,622	6,715			
		合計(A)	53,715	96,115	65,206	142,413				
		人件費	正規職員	業務量	0.44 人	0.54 人	0.54 人	0.84 人		
				人件費	3,437	4,193	4,193	6,500		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		3,437	4,193	4,193	6,500		
			合計(A+B)		57,152	100,308	69,399	148,913		
		市民1人当たりのコスト(円)		632	1,124	778	1,697			
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	事業の進捗率		橋梁架け替えによる事業進捗率 (執行事業費/総事業費)		%	目標	11	22	32	38
						実績	11			
	指標化できない成果		国の交付金交付状況により、目標値の見直しが必要です。		達成	100				
方向	継続	課題	橋梁の架け替えには、膨大な時間と費用を必要としますが、全国的な傾向として、国の交付金充当率が十分に見込めず、計画通りの進捗が困難です。また、山神橋北側からR422号へのバイパス道路について、同時に検討する必要があります。							
		改善案	県内他市町村との交付金流用や、国の補正予算及び予算繰越制度を効率的に活用し、予算の確保に努めます。また、関係機関等と綿密な調整の上、計画的に事業を推進する必要があります。							

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)05交通安全施設整備事業費(大事業)01交通安全施設維持修繕経費	決算書頁
343 -		281

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策 4-3	道路	H16 年度～	R6 年度	01-08-02-05-01-01
	基本事業 ①	道路	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	交通安全施設維持修繕経費	担当 部署	建設部道路河川課	課長 松尾 卓哉 0595-22-9725

事務事業の概要	対 象	交通安全施設		
	目 的	市民を交通事故から守り、また、安全かつ円滑な交通の確保に資することを目的とした各種交通安全施設の維持管理を行う		
	根拠法令等			
	内 容	カーブミラー及びガードレール、区画線等の交通安全施設の新設及び修繕を行います。 令和3年度は、交通安全施設(カーブミラー・ガードレール・区画線等)の設置工事及び修繕工事を67件実施しました。		
	事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要
		需用費	10,729,950円	消耗品費 79,200円
		工事請負費	3,247,200円	修繕料(防護柵5件、道路反射鏡13件、 道路照明6件、区画線等33件) 10,650,750円
		原材料費	68,420円	防護柵1件、道路反射鏡1件、 区画線等8件
				資材費
		計	14,045,570円	

		項目	R2年度決算		R3年度当初予算		R3年度決算		R4年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	国県支出金		0		0		0				
			地方債		0		0		0				
			その他		0		0		0				
			一般財源		14,784		14,046		14,046			13,624	
			合計(A)		14,784		14,046		14,046			13,624	
	人件費	正規職員	業務量	1.11	人	0.90	人	0.90	人	1.05		人	
			人件費	8,671		6,988		6,988		8,124			
		再任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00		人	
			人件費	0		0		0		0			
		会計年度任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00		人	
			人件費	0		0		0		0			
		小計(B)		8,671		6,988		6,988		8,124			
		合計(A+B)		23,455		21,034		21,034		21,748			
	市民1人当たりのコスト(円)			259		236		236		248			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	予算に対する執行率	最終予算に対する執行率	%	目標	100	100	100	100
				実績	100			
	指標化できない成果			達成	100			

方向	継続	課題	通学路にかかる交通安全施設について、近年は全国的に通学中の事故が増加しています。
		改善案	教育委員会や公安委員会等と協議をして、危険箇所の選定や工法等を検討し、優先すべきものから効率的に整備を推進します。

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)02直轄管理河川改修対策事業費(大事業)01事務管理経費						決算書頁		
344 -								283		
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	2-1	危機管理			H16 年度～ R6 年度	01-08-03-02-01-01			
	基本事業	③	河川維持・改修			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	事務管理経費			建設部企画管理課		課長 福田 康彦 0595-22-9722			
事務事業の概要	対 象	内水による浸水被害箇所								
	目 的	内水が起因する浸水被害の軽減								
	根拠法令等									
	内 容	内水による浸水被害を軽減するために排水機や樋門、また、排水ポンプや排水ポンプ車を操作、点検します。 大戸川小田排水機場外5件点検操作業務委託(点検:各施設月1回)、排水ポンプ車操作及び点検業務(木津川上流河川事務所との合同訓練外1回)を行いました。また、排水ポンプ用発動発電機の修繕を実施しました。 なお、令和3年度においては、排水機場や排水ポンプ車両の操作を要する大雨の発生はしなかった。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	需用費		1,671,020円		消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料					
	委託料		1,265,990円		排水機・樋門等点検操作委託料 821,700円 排水ポンプ車操作・点検業務委託料 263,890円 発電機運搬業務委託料 180,400円					
	計		2,937,010円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		0	0	0	0		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		0	0	0	0		
			一般財源		4,369	5,621	2,937	6,238		
		合計(A)		4,369	5,621	2,937	6,238			
		人件費	正規職員	業務量	1.04 人	1.04 人	1.04 人	1.24 人		
				人件費	8,124	8,075	8,075	9,594		
			再任用職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.00 人		
				人件費	385	354	354	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.10 人		
				人件費	0	0	0	162		
			小計(B)		8,509	8,429	8,429	9,756		
			合計(A+B)		12,878	14,050	11,366	15,994		
	市民1人当たりのコスト(円)		143	158	128	183				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
						目標				
						実績				
	指標化できない成果	浸水被害対策のための施設の運転及び日常の維持管理経費のため。			達成					
方向	継続	課題	今後、大戸川小田排水機場以外の施設においても、経年劣化等によりポンプ施設の大規模な更新作業が発生することが考えられる。							
			改善案	日頃より、大規模修繕が発生しないよう適切な管理を行い、施設の長寿命化を図っていく。このための予算の確保にも努める。						

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)02直轄管理河川改修対策事業費(大事業)03直轄管理河川改修事業						決算書頁	
345 -								283	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	2-1	危機管理	R2	年度～	R6 年度	01-08-03-02-03-01
	基本事業	③	河川維持・改修	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	直轄管理河川改修事業			建設部企画管理課		課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対 象	大戸川小田排水機場		
	目 的	内水排水対策施設である大戸川小田排水機場の改修		
	根拠法令等			
	内 容	改修工事に向け、令和2年度において基本構想を策定し、令和3年度においては大戸川小田排水機場の改修事業の実施設計を行った。 令和4年度より令和6年度までの工事期間(予定)で、当該施設の改修工事を行う。		

事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要
	委託料	32,780,000円	大戸川小田排水機場実施設計業務委託
	計	32,780,000円	

全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 【特定財源】 緊急自然災害防止対策事業債
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	59,800	32,700	164,600	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	10,396	86	80	13	
	合計(A)		10,396	59,886	32,780	164,613		
	人件費	正規職員	業務量	0.64 人	0.64 人	0.64 人	0.84 人	
			人件費	5,000	4,969	4,969	6,500	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		小計(B)		5,000	4,969	4,969	6,500	
	合計(A+B)		15,396	64,855	37,749	171,113		
市民1人当たりのコスト(円)		170	727	423	1,950			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	事業進捗率	大戸川小田排水機場改修事業に係る進捗率	%	目標	8.6	30.5	61.0	100
				実績	8.6			
	指標化できない成果				達成	100%		

方向	継続	課題	令和3年度以降の工事において、可能な限り実施設計で得た安価な工事内容を引継ぎ、工事実施を行う必要がある。
		改善案	工事監督業務の中で、工事費の変更増額となる工事内容の要因が発生した場合は、他の手法で回避するなど、工事費の増額の軽減に努める。

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)03準用河川改修対策費(大事業)01準用河川管理経費	決算書頁
346 -		283

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策 2-1	危機管理	H16 年度～	R6 年度	01-08-03-03-01-02
	基本事業 ③	河川維持・改修	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	矢田川分流堰操作業務経費	担当 部署	建設部企画管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対 象	矢田川分流堰		
	目 的	河川氾濫による浸水被害の軽減		
	根拠法令等			
	内 容	一級河川矢田川の河川氾濫による浸水被害を軽減を行うべく、矢田川分流堰の操作並びに点検を行う。 一級河川矢田川分流堰の操作・点検業務(豪雨・台風による操作4回、点検業務各月1回)を行った。		
	事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要
		需用費	157,000円	消耗品費、光熱水費
		委託料	179,000円	矢田川分流堰維持管理業務委託料
		計	336,000円	

		項目	R2年度決算		R3年度当初予算		R3年度決算		R4年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	国県支出金		336	336	336	336	336	【特定財源(県支出金)】 矢田川分流堰維持管理及び操作業務委託金		
			地方債		0	0	0	0	0			
			その他		0	0	0	0	0			
			一般財源		0	0	0	0	0			
			合計(A)		336	336	336	336	336			
	人件費	正規職員	業務量	0.18	人	0.18	人	0.18	人	0.18		人
			人件費	1,406		1,398		1,398		1,393		
		再任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00		人
			人件費	0		0		0		0		
		会計年度任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00		人
			人件費	0		0		0		0		
		小計(B)		1,406		1,398		1,398		1,393		
		合計(A+B)		1,742		1,734		1,734		1,729		
	市民1人当たりのコスト(円)			20		20		20		20		

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標				
				実績				
	指標化できない成果	浸水被害対策のための施設の運転及び日常の維持管理経費の為。		達成				

方向	継続	課題	点検管理業務の受託者である大東区より、高齢化により将来当業務の受託は困難な状況となっていることが伝えられている。
		改善案	当維持管理経費は県よりの作業委託金を充当し運営しているが、その受託金額は安価な状況で地元自治会へ依頼するほかに手法はない。 このような状況の費用で運営が困難な状況を県へ伝え、直接の施設管理者が自ら維持管理を行っていただくよう再協議を行う。

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)03準用河川改修対策費(大事業)01準用河川管理経費						決算書頁	
347 -								283	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	2-1	危機管理	H16 年度～ R6 年度		01-08-03-03-01-03	
	基本事業	③	河川維持・改修	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	青山工業団地調整池管理業務経費			青山支所振興課		課長 大岡 宏 0595-52-1112

事務事業の概要	対 象	青山工業団地調整池		
	目 的	調整池を保全し、機能を十分に発揮させる。		
	根拠法令等			
	内 容	青山工業団地調整池の周囲に設置してあるフェンスの門扉が破損していたため修繕しました。 調整池周辺の除草を行いました。		
事業に要した 主な経費 など		経費	金額	摘要
		修繕料	99,000円	青山工業団地調整池門扉設置
		委託料	268,400円	青山工業団地調整池除草業務委託
		積立金	20,134円	青山工業団地調整池等管理基金積立金
		計	387,534円	

全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 青山工業団地調整池管理基金	
			国県支出金	0	0				
			地方債	0	0				
			その他	146	113	388	354		
			一般財源	0	0				
				合計(A)	146	113	388	354	
	人件費	正規職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人		
			人件費	157	156	156	155		
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
			人件費	0	0	0	0		
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
			人件費	0	0	0	0		
			小計(B)	157	156	156	155		
			合計(A+B)	303	269	544	509		
	市民1人当たりのコスト(円)			4	4	7	6		

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	苦情件数	調整池の雑草に関する苦情件数	件	目標	0	0	0	0
				実績	0			
	指標化できない成果				達成	100%		

方向	縮小	課題	施設設置から、30年以上の期間が経過していることから、老朽化による多額の修繕費等が必要となる。 調整池の機能維持が保たれるよう、周辺の草刈りを実施していく。
		改善案	優先箇所の修繕及び適切なメンテナンスによる必要経費の軽減 適切な草刈り範囲と回数の設定

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)03準用河川改修対策費(大事業)01準用河川管理経費										決算書頁	
348 -												283	
基本情報		コード	名称				事業期間			会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	2-1	危機管理				H16 年度～ R6 年度			01-08-03-03-01-04			
	基本事業	③	河川維持・改修				担当 部署	部・課名等			評価責任者・連絡先		
	事務事業名	河川維持経費				伊賀支所振興課			課長 前川 一幸 0595-45-9111				
事務事業の概要	対 象	伊賀支所管内の準用河川											
	目 的	準用河川を維持管理し、環境を保全する。											
	根拠法令等	自治会等への草刈業務委託実施要領											
	内 容	伊賀支所管内の準用河川において、河川環境を守り、自然災害や万が一の事故に備えるため、河川周辺の草刈を地域集落へ委託。 また、草刈の燃料費を支給しました。											
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要							
	燃料費		12,818円		準用河川草刈燃料費支給 (支給先:山出区)								
	委託費		82,200円		準用河川井戸川草刈業務委託 (委託先:川東区)								
	計		95,018円										
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算		R3年度当初予算		R3年度決算		R4年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金										
			地方債										
			その他										
			一般財源		97		101		95		97		
		合計(A)		97		101		95		97			
		人件費	正規職員	業務量	0.02 人	0.10 人		人	0.10 人				
				人件費	157	777		0	774				
			再任用職員	業務量		人		0.05 人		人			
				人件費	0	0		177	0				
			会計年度任用職員	業務量		人		人		人			
				人件費	0	0		0	0				
			小計(B)		157		777		177		774		
			合計(A+B)		254		878		272		871		
		市民1人当たりのコスト(円)		3		10		4		10			
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	実施率		実施面積/必要面積		%	目標	100	100	100	100			
						実績	100						
	指標化できない成果					達成	100						
方向	継続	課題	定期的な草刈を実施することが、河川の環境を守るためには不可欠であり、将来的に地域集落で草刈を継続いただけるかが課題です。										
		改善案											

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)03準用河川改修対策費(大事業)02準用河川改修事業						決算書頁															
349 -								283															
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業																
	施策	2-1	危機管理			H26 年度～ R6 年度	01-08-03-03-02-01																
	基本事業	③	河川維持・改修			部・課名等		評価責任者・連絡先															
	事務事業名	準用河川等整備事業			担当部署	建設部道路河川課		課長 松尾 卓哉 0595-22-9725															
事務事業の概要	対 象	本市が所管する河川																					
	目 的	降雨時における浸水被害を解消する																					
	根拠法令等																						
	内 容	洪水による氾濫防止や河川環境の保全を図ります。 令和3年度は、河川浚渫工事11件と河川内支障木伐採を2件を実施しました。																					
	事業に要した 主な経費 など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr><tr><td>給料・需用費</td><td>1,640,045円</td><td>一般職給、燃料費14地区、修繕料5件</td></tr><tr><td>委託料</td><td>1,419,000円</td><td>樹木伐採業務委託2件 528,000円 オオサンショウウオ保護調査業務委託3件 891,000円</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td>38,052,300円</td><td>森の前川浚渫工事 7,711,000円 中出谷川浚渫工事 5,027,000円 見合谷川浚渫工事 4,693,700円 古野川浚渫工事 4,250,400円 吉谷川浚渫工事 4,248,200円 奥村谷川浚渫工事 3,278,000円 その他浚渫工事5件 8,844,000円</td></tr><tr><td>計</td><td>41,111,345円</td><td></td></tr></table>								経費	金額	摘要	給料・需用費	1,640,045円	一般職給、燃料費14地区、修繕料5件	委託料	1,419,000円	樹木伐採業務委託2件 528,000円 オオサンショウウオ保護調査業務委託3件 891,000円	工事請負費	38,052,300円	森の前川浚渫工事 7,711,000円 中出谷川浚渫工事 5,027,000円 見合谷川浚渫工事 4,693,700円 古野川浚渫工事 4,250,400円 吉谷川浚渫工事 4,248,200円 奥村谷川浚渫工事 3,278,000円 その他浚渫工事5件 8,844,000円	計	41,111,345円
経費	金額	摘要																					
給料・需用費	1,640,045円	一般職給、燃料費14地区、修繕料5件																					
委託料	1,419,000円	樹木伐採業務委託2件 528,000円 オオサンショウウオ保護調査業務委託3件 891,000円																					
工事請負費	38,052,300円	森の前川浚渫工事 7,711,000円 中出谷川浚渫工事 5,027,000円 見合谷川浚渫工事 4,693,700円 古野川浚渫工事 4,250,400円 吉谷川浚渫工事 4,248,200円 奥村谷川浚渫工事 3,278,000円 その他浚渫工事5件 8,844,000円																					
計	41,111,345円																						
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)															
			国県支出金	0	0	0	0																
			地方債	23,000	43,000	38,000	121,900																
			その他	1,000	0	0	0																
			一般財源	2,361	68	3,111	2,139																
			合計(A)	26,361	43,068	41,111	124,039																
	人件費	正規職員	業務量	0.72 人	1.17 人	1.17 人	1.36 人	緊急浚渫推進事業債															
			人件費	5,624	9,084	9,084	10,523																
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人																
			人件費	0	0	0	0																
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人																
			人件費	0	0	0	0																
		小計(B)		5,624	9,084	9,084	10,523																
	合計(A+B)			31,985	52,152	50,195	134,562																
	市民1人当たりのコスト(円)			354	585	563	1,533																
指標	指標名		指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度														
	予算に対する執行率		最終予算に対する執行率	箇所	目標	100	100	100	100														
					実績	95.46																	
	指標化できない成果				達成	95.46																	
方向	継続	課題	長年の堆積土砂と近年の降水量の増加により、河川の高水位が高くなり危険性が上がってきたことから、浚渫等のニーズが増え、対応に苦慮しています。																				
		改善案	地区から過去の河川の高水位や、越水、災害履歴などを聞き取り、計画的に実施していきます。																				

整理番号							決算書頁																											
350 -		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)04ダム関連整備費(大事業)02ダム周辺整備事業					285																											
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業																											
	施策	3-3	森林保全・林業			H22 年度～ R4 年度	01-08-03-04-02-01																											
	基本事業	①	森林環境の整備			部・課名等		評価責任者・連絡先																										
	事務事業名	生産管理用道路整備事業			担当 部署	産業振興部農村整備課		課長 岩野 庄司 0595-22-9718																										
事務事業の概要	対 象	川上ダム湖面周辺の残地森林の所有者																																
	目 的	ダム水没地周辺の山林管理用道路を開設する。																																
	根拠法令等	川上ダム周辺整備事業基金条例																																
	内 容	当道路は、川上ダムの周辺整備事業としてダムの湛水により林業施設に支障をきたす半島形状となる山間部に開設しており事業を推進するため測量設計業務委託、開設工事を行いました。 生産管理用道路 全長L=3,063m W=4.0m ・生産管理用道路開設工事(Ⅷ期) L=241.4mを実施。(契約解除により出来高率44.7%) ・生産管理用道路法面保護工事 L=241.4mを実施。(植生工A=240m2) ・生産管理用道路安全施設設置工事 L=561.0mを実施。(ガードレール設置)																																
	事業に要した 主な経費 など	<table> <tr> <th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr> <tr> <td>需用費</td><td>697,047円</td><td>消耗品費 ブルーシート、土のう袋他</td></tr> <tr> <td>委託料</td><td>255,530円</td><td>事務機器保守点検委託料</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>弁護士業務委託料(弁護士業務委託着手金)</td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td>11,771,000円</td><td>生産管理用道路安全施設設置工事</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>(繰)生産管理用道路開設工事(Ⅷ期)</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td>(繰)生産管理用道路法面保護工事</td></tr> <tr> <td>積立金</td><td>1,621,114円</td><td>川上ダム周辺整備基金積立金</td></tr> <tr> <td>計</td><td>14,344,691円</td><td></td></tr> </table>							経費	金額	摘要	需用費	697,047円	消耗品費 ブルーシート、土のう袋他	委託料	255,530円	事務機器保守点検委託料			弁護士業務委託料(弁護士業務委託着手金)	工事請負費	11,771,000円	生産管理用道路安全施設設置工事			(繰)生産管理用道路開設工事(Ⅷ期)			(繰)生産管理用道路法面保護工事	積立金	1,621,114円	川上ダム周辺整備基金積立金	計	14,344,691円
経費	金額	摘要																																
需用費	697,047円	消耗品費 ブルーシート、土のう袋他																																
委託料	255,530円	事務機器保守点検委託料																																
		弁護士業務委託料(弁護士業務委託着手金)																																
工事請負費	11,771,000円	生産管理用道路安全施設設置工事																																
		(繰)生産管理用道路開設工事(Ⅷ期)																																
		(繰)生産管理用道路法面保護工事																																
積立金	1,621,114円	川上ダム周辺整備基金積立金																																
計	14,344,691円																																	
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																										
			国県支出金	0	0	0	0																											
			地方債	0	0	0	0																											
			その他	38,323	52,500	14,345	46,413																											
			一般財源	0	0	0	0																											
			合計(A)	38,323	52,500	14,345	46,413																											
	人件費	正規職員	業務量	0.35 人	0.35 人	0.47 人	0.47 人																											
			人件費	2,734	2,718	3,650	3,637																											
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人																											
			人件費	0	0	0	0																											
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人																											
			人件費	0	0	0	0																											
		小計(B)		2,734	2,718	3,650	3,637																											
		合計(A+B)		41,057	55,218	17,995	50,050																											
	市民1人当たりのコスト(円)			454	619	202	571																											
指標	指標名		指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度																									
	整備進捗率		供用開始する林道の延長	m	目標	241	241	0	0																									
					実績	0																												
	指標化できない成果				達成	0%																												
方向	継続	課題	受注者の破産に伴う契約解除により工事進捗が図れなかった。 第2工区は一部用地交渉が難航し地図訂正が出来ていない土地があり用地問題が解決しない限り進捗が図れず、休止予定。																															
		改善案	令和4年度に進捗が図れなかった箇所の工事を再開する。 用地問題については、川上ダム建設所が対応を行う。																															

整理番号							決算書頁												
351 -		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)04ダム関連整備費(大事業)02ダム周辺整備事業					285												
基本情報	コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業												
	施策	4-3	道路			R3 年度～ R6 年度	01-08-03-04-02-03												
	基本事業	①	道路			部・課名等		評価責任者・連絡先											
	事務事業名	川上ダム周辺整備事業			担当 部署	建設部道路河川課		課長 松尾 卓哉 0595-22-9725											
事務事業の概要	対 象	川上団地内及びその周辺の市管理道路施設																	
	目 的	川上団地内の道路施設の異常または損傷を早期に発見するとともに、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する																	
	根拠法令等																		
	内 容	川上団地内及びその周辺の本市が管理する道路施設を常時良好な状態に保つよう、道路舗装及び付属構造物の損傷箇所について、修繕工事を行います。 令和3年度は、3箇所の道路施設の修繕等を行いました。																	
	事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td><td>2,513,500円</td><td>修繕料2件</td></tr> <tr> <td>工事請負費</td><td>1,025,200円</td><td>市道川上中線 道路施設修繕工事</td></tr> <tr> <td>計</td><td>3,538,700円</td><td></td></tr> </tbody> </table>							経費	金額	摘要	需用費	2,513,500円	修繕料2件	工事請負費	1,025,200円	市道川上中線 道路施設修繕工事	計	3,538,700円
経費	金額	摘要																	
需用費	2,513,500円	修繕料2件																	
工事請負費	1,025,200円	市道川上中線 道路施設修繕工事																	
計	3,538,700円																		
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R2年度決算		R3年度当初予算		R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)										
		国県支出金	0		0		0	0											
		地方債	0		0		0	0											
		その他	0		5,000		3,539	2,700											
		一般財源	0		0		0	0											
		合計(A)	0		5,000		3,539	2,700											
	人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.75 人	0.75 人	0.55 人												
			人件費	0	5,823	5,823	4,256												
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人												
			人件費	0	0	0	0												
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人												
			人件費	0	0	0	0												
		小計(B)	0		5,823		5,823	4,256											
		合計(A+B)	0		10,823		9,362	6,956											
	市民1人当たりのコスト(円)		0		122		105	80											
指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度											
	予算に対する執行率	最終予算に対する執行率	%	目標	100	100	100	100											
				実績	98.3														
	指標化できない成果			達成	98.3														
方向	継続	課題	施設の設置から20年以上が経過し、道路施設の経年劣化が進行して、小規模修繕では対応ができない施設が増えて対応に苦慮しています。																
		改善案	年々数が増える修繕が必要な施設について、危険度や利用度、地区要望などを考慮して優先度により修繕計画を立てて施設を管理します。																

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)07都市計画調査策定等事業							決算書頁	
352 -									287	
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	4-1	都市政策			R元	年度～	R3	年度	01-08-04-01-07-01
	基本事業	①	コンパクトシティ・プラス・ネットワーク			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	都市計画調査策定等事業			建設部都市計画課		課長 川部 正章 0595-22-9731			
事務事業の概要	対 象	伊賀市全域								
	目 的	伊賀市の都市計画に関わる計画等の策定を行う								
	根拠法令等	都市計画法、都市再生特別措置法								
	内 容	都市計画法第18条の2に基づき策定された伊賀市都市マスタープラン(平成22年9月策定)を改訂しました。 都市マスタープランは概ね20年後の都市の将来像を見据えた、10年間の計画です。 策定委員会で協議を重ねて、伊賀市都市マスタープラン(案)をまとめました。 令和3年度実績 都市マスタープラン策定委員委嘱 20名 都市マスタープラン策定委員会の開催 開催回数 2回 開催日 令和3年 5月18日(火) 出席委員数18名 令和3年10月14日(木) 出席委員数15名 〔参照〕 土地利用条例取扱件数 324件								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	報酬		186,000円		都市マスタープラン策定委員報酬					
	旅費		32,775円							
	需用費		381,594円		消耗品費		15,294円			
	委託料		2,310,000円		印刷製本費		366,300円			
					伊賀市都市マスタープラン策定支援業務委託 委託先:(株)パスコ三重支店					
	計		2,910,369円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		0	0	0	5,500		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		0	0	0	0		
			一般財源		5,812	3,130	2,910	5,507		
		合計(A)		5,812	3,130	2,910	11,007			
		人件費	正規職員	業務量	1.25 人	1.30 人	1.30 人	2.80 人		
				人件費	9,764	10,094	10,094	21,664		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		9,764	10,094	10,094	21,664		
			合計(A+B)		15,576	13,224	13,004	32,671		
	市民1人当たりのコスト(円)		172	149	146	373				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	事業進捗率				%	目標	100	100	100	100
						実績	100			
	指標化できない成果				達成	100%				
方向	継続	課題	伊賀市都市マスタープランの改訂に伴う、立地適正化計画の見直し等を早期に策定して、施策を推進する必要がある。							
		改善案								

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)10産業集積開発事業推進経費						決算書頁		
353 -								287		
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-5	商工業・産業立地			H27 年度～ R6 年度	01-08-04-01-10-01			
	基本事業	②	企業立地			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	産業集積開発事業推進経費			建設部企業用地整備課		課長 石黒 義章 0595-22-9727			
事務事業の概要	対 象	市民(新たな雇用の創出)								
	目 的	新たな雇用の創出と人口の減少に歯止めをかけるため、就業機会の拡大、若者の定住の推進を図る。								
	根拠法令等	第2次伊賀市総合計画・第3次基本計画、伊賀市都市マスタープラン								
	内 容	新たな雇用の創出と人口の減少に歯止めをかけるため、民間開発事業者を誘致し、民間主導による新たな産業用地の創出を推進する。 ①企業誘致PR活動 資料作成、PR動画作成(英語版) ②企業アンケートの実施 送付数 3,970社、回答数 116社、送付業種 製造業、IT関連 ③企業訪問 アンケートで伊賀市への立地に興味を持ってもらった企業を訪問。 訪問数7社 ④大規模地権者との各種調整 ⑤市民の声の聞取り 伊賀市の魅力や、若者の働きたい場、働く場の確保等について意見交換を実施。 ・上野高校、伊賀白鳳高校、あけぼの高校 ・伊賀市ハローワーク								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	旅費		360,890円		企業訪問(東京、大阪等)					
	消耗品費		19,746円		事務用品					
	印刷製本費		93,841円		アンケート封筒印刷代					
	産業集積開発事業支援業務委託料		3,782,900円		PR資料作成業務委託					
	計		4,257,377円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		0	0		3,300		
			地方債		0	0				
			その他		0	0				
			一般財源		194	5,083	4,258	5,680		
		合計(A)		194	5,083	4,258	8,980			
		人件費	正規職員	業務量	2.00 人	2.00 人	2.00 人	3.00 人		
				人件費	15,622	15,528	15,528	23,211		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		15,622	15,528	15,528	23,211		
			合計(A+B)		15,816	20,611	19,786	32,191		
	市民1人当たりのコスト(円)		175	231	222	367				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
						目標				
						実績				
	指標化できない成果		事業内容が事業化に向けた調整が主な為			達成				
方向	継続	課題	開発事業者を誘致する際の最大の課題が立地企業の確保(売れ残りのリスクの軽減)が必要である。							
		改善案	最終進出企業の掘起しを行い、当市への進出希望企業が十分あることを示すことが開発事業者の誘致に繋がると考える。企業誘致については、更なる市の魅力を伝えるべく様々な手法の検討。さらには企業のニーズを把握することも重要である。							

整理番号

354 -

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)12個人住宅耐震診断支援事業

決算書頁

287

基本情報		コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	4-2	住環境整備		H16 年度～ R6 年度		01-08-04-01-12-01	
	基本事業	①	木造住宅等の耐震化		担当 部署	部・課名 等		評価責任者・連絡先
	事務事業名		個人住宅耐震診断支援事業			建設部住宅課		課長 前川 浩哉 0595-22-9737

事務事業の概要

対 象	市内にある旧耐震基準(昭和56年5月31日以前に着工)で建設された階数が3以下の木造住宅		
目 的	木造住宅の地震に対する安全性の確認及び耐震補強の啓発を行うことにより地震に強いまちづくりを進める		
根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法律、三重県建築物耐震改修促進計画、伊賀市建築物耐震改修促進計画		
内 容	住宅の耐震に関する啓発活動として、本庁市民スペースでのパネル展示等を行っています。 耐震診断の普及啓発事業としては、広報やホームページ等により耐震診断の対象者を募集するとともに、市街化区域内において緊急耐震重点区域を設定し、三重県とボランティアの普及啓発員と共に戸別訪問を行いました。(訪問件数128戸) 耐震診断の実績としては、令和3年度は20戸の木造住宅について耐震診断を行い、住宅所有者等に対して耐震性の有無と耐震補強工事に関する費用等の情報提供を行いました。		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要
	委託料	944,000円	木造住宅耐震診断事業派遣等業務委託 (委託先:三重県木造住宅耐震促進協議会)
	計	944,000円	

		項目		R2年度決算		R3年度当初予算		R3年度決算		R4年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	国県支出金		1,061		1,770		707		1,770		社会資本整備総合交付金 三重県木造住宅耐震診断等事業費補助金
			地方債		0		0		0		0		
			その他		0		0		0		0		
			一般財源		355		590		237		590		
			合計(A)		1,416		2,360		944		2,360		
	人件費	正規職員	業務量	0.10	人	0.10	人	0.10	人	0.10	人		
			人件費	782		777		777		774			
		再任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人		
			人件費	0		0		0		0			
		会計年度任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人		
			人件費	0		0		0		0			
		小計(B)		782		777		777		774			
		合計(A+B)		2,198		3,137		1,721		3,134			
	市民1人当たりのコスト(円)				25		36		20		36		

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	耐震診断実施率	耐震診断件数／耐震診断目標件数	%	目標	100	100	100	100
				実績	66.7			
	指標化できない成果				達成	66.7%		

方向	継続	課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、戸別訪問が難しい時期があり、結果として例年に比べ普及啓発活動実施件数が減少しました。また住宅所有者等からの申請件数も減少したため、耐震に関する住民意識のさらなる向上を図る必要があります。
	改善案	I. II 三重県木造住宅耐震促進協議会の協力のもと、年2回の戸別訪問や市発信の広報活動(パネル展示、広報、ホームページ等)を継続実施することにより、耐震化に向けての普及啓発を行い、耐震診断申請数の改善を図ります。 また、令和4年度より空き家対策室が住宅課課内室となったため、空き家施策との連携により耐震化を図る検討をしています。	

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)14住宅・建築物耐震改修等事業						決算書頁		
355 -								287		
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	4-2	住環境整備			H16 年度～	R6 年度	01-08-04-01-14-01		
	基本事業	①	木造住宅等の耐震化			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	住宅・建築物耐震改修等事業			建設部住宅課		課長 前川 浩哉 0595-22-9737			
事務事業の概要	対 象	耐震診断の結果、巨大地震発生時に倒壊する可能性が高いと診断された木造住宅等								
	目 的	住宅の耐震化を行うことで地震による被害や避難路の通行障害を防ぎ、地震に強いまちづくりを目指す								
	根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法律、三重県建築物耐震改修促進計画、伊賀市建築物耐震改修促進計画								
	内 容	木造住宅耐震補強設計事業及び木造住宅耐震補強事業では、耐震診断で倒壊する可能性が高いと判定された旧耐震基準の木造住宅について、耐震を向上させるための工事設計費や工事費、耐震改修工事と合わせて施工するリフォーム工事費について補助を行いました。 災害時要援護者宅家具固定事業では、三重県建設労働組合上野支部に協力いただき、市内の高齢者、障がい者宅で1戸あたり最大3台までの家具を金具で固定し、安心安全な居室の確保に寄与しました。 ・木造住宅耐震補強設計事業 2件 ・木造住宅耐震補強事業 3件 ・リフォーム事業 2件 ・災害時要援護者宅家具固定事業 2件								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	負担金補助及び交付金		4,722,000円		耐震補強設計事業費補助金					
	その他経費		30,688円		耐震補強事業費補助金 消耗品、研修会等参加負担金					
	計		4,752,688円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		2,240	4,560	2,900	4,560		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		0	0	0	0		
			一般財源		1,198	2,426	1,853	2,426		
		合計(A)		3,438	6,986	4,753	6,986			
		人件費	正規職員	業務量	0.25 人	0.25 人	0.12 人	0.12 人		
				人件費	1,953	1,941	932	929		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		1,953	1,941	932	929		
			合計(A+B)		5,391	8,927	5,685	7,915		
	市民1人当たりのコスト(円)		60	101	64	91				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	耐震補強実施率		耐震補強実施件数／耐震診断で評点0.7未満の住宅		%	目標	6.8	6.8	6.8	6.8
						実績	6.8			
	指標化できない成果					達成	100%			
方向	継続	課題	耐震診断で倒壊する可能性が高いと判定されても耐震工事費が高額で工事できないという意見が多くみられます。							
		改善案	I II 耐震改修工事をより安価に行うことができる工法等について情報収集し、情報提供を行っていきます。 耐震診断の対象者に対し、補強設計や補強工事の補助制度の案内を丁寧に行っていきます。							

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)15ブロック塀等撤去費補助事業						決算書頁		
356 -								287		
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	4-2	住環境整備			H30 年度～ R6 年度		01-08-04-01-15-01		
	基本事業	①	木造住宅等の耐震化			担当 部署	部・課名 等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	ブロック塀等撤去費補助事業			建設部住宅課		課長 前川 浩哉 0595-22-9737			
事務事業の概要	対 象	道路に面するブロック塀等で高さが1メートルを超え、地震により倒壊又は転倒の危険があるもの								
	目 的	危険なブロック塀等を撤去することで地震等の災害から市民の生命・身体を守り、避難路等を確保する								
	根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法理、三重県建築物耐震改修促進計画、伊賀市建築物耐震改修促進計画								
	内 容	ブロック塀等撤去費補助金交付要綱に基づき、撤去費用の補助金を交付しました。 市広報やホームページなどにより周知を行い、令和3年度は11件625,000円の補助を行いました。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	負担金、補助及び交付金		625,000円		ブロック塀等撤去費補助金					
	計		625,000円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		384	750	312	750		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		0	750	313	750		
			一般財源		384	0	0	0		
		合計(A)		768	1,500	625	1,500			
		人件費	正規職員	業務量	0.12 人	0.12 人	0.10 人	0.10 人		
				人件費	938	932	777	774		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.20 人	0.20 人		
				人件費	0	0	320	324		
			小計(B)		938	932	1,097	1,098		
			合計(A+B)		1,706	2,432	1,722	2,598		
	市民1人当たりのコスト(円)		19	28	20	30				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実施率		撤去件数／申請件数		%	目標	100	100	100	100
						実績	91.7			
	指標化できない成果				達成	91.7%				
方向	継続	課題	平成30年から3年間の国の緊急対策として始まった制度ですが、他の耐震改修事業と同制度で継続になっています。 ブロック塀等の所有者からの申請による補助事業のため、所有者の意識の向上を図る必要があります。							
		改善案	避難路や通学路が国の補助対象となることから、今後も国費の確保及び制度の周知を図っていきます。							

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業						決算書頁		
357 - 1								289		
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	4-1	都市政策			H20 年度～	R3 年度	01-08-04-02-01-01		
	基本事業	②	良好な景観形成			担当 部署	部・課名 等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	市街地整備推進事業費			建設部都市計画課		課長 川部 正章 0595-22-9731			
事務事業の概要	対 象	城下町重点風景区域内等における建築行為等								
	目 的	伊賀市景観計画で定める基準に適合させる								
	根拠法令等	景観法								
	内 容	建築行為に対し、景観計画に基づいて行為の届出を求めるとともに、景観形成基準への適合審査を行い、必要に応じて景観アドバイザーの意見を求めながら景観の保全・形成を進めました。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
		報酬		132,000円		景観審議会委員報酬				
報償費		9,296円		景観アドバイザー謝礼						
旅費		22,734円								
需用費		3,798円		消耗品費						
使用料及び賃借料		1,000円		会場借上料						
計		168,828円								
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		0	0	0	0		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		0	0	0	0		
			一般財源		150	223	169	224		
		合計(A)		150	223	169	224			
		人件費	正規職員	業務量	0.68 人	0.68 人	0.72 人	0.91 人		
				人件費	5,312	5,280	5,591	7,041		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		5,312	5,280	5,591	7,041		
			合計(A+B)		5,462	5,503	5,760	7,265		
市民1人当たりのコスト(円)		61	62	65	83					
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	適合率		届出行為の景観形成基準への適合率		%	目標	90	90	90	90
						実績	87			
	指標化できない成果				達成	97%				
方向	継続	課題	城下町風景をはじめとする景観の保全・形成の必要性に関する建築主等の理解が重要であり、市民啓発等の実施方法について検討が必要です。 今後は、活動を再開させた「うえのまち風景づくり協議会」を軌道に乗せ、そこから出る意見等を景観計画に反映させる事が目標である。							
		改善案								

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業						決算書頁		
357 - 2								289		
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-4	中心市街地活性化			H16 年度～ R6 年度	01-08-04-02-01-01			
	基本事業	①	市街地整備			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	市街地整備推進事業費			産業振興部中心市街地推進課		課長 堀川 敬二 0595-22-9825			
事務事業の概要	対 象	市民、来街者、観光客								
	目 的	まちめぐりの拠点・交流施設の利用を促進し、にぎわいの拠点づくりを行う。								
	根拠法令等									
	内 容	○まちめぐりの拠点・交流施設として整備した国登録有形文化財である武家屋敷「赤井家住宅」について、指定管理者制度により管理を行った。 《施設利用状況》施設利用者2,582人/年、施設見学を含む入館者10,533人/年 ○旧玉岡邸について、草刈、溝掃除、清掃等を実施し、売却を含む今後の方針について検討した。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	委託料		6,588,450円 48,290円		赤井家住宅指定管理料/伊賀市文化都市協会 旧玉岡邸草刈等業務/NPO法人絆					
	計		6,636,740円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) ふるさと応援基金繰入金 600,000円 新型コロナウイルス感染症対策基金繰入金 157,000円	
			国県支出金		0	0	0	0		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		1,850	600	757	0		
			一般財源		4,687	6,083	5,880	8,381		
		合計(A)		6,537	6,683	6,637	8,381			
		人件費	正規職員	業務量	0.62 人	0.62 人	0.62 人	0.62 人		
				人件費	4,843	4,814	4,814	4,797		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		4,843	4,814	4,814	4,797		
			合計(A+B)		11,380	11,497	11,451	13,178		
	市民1人当たりのコスト(円)		126	129	129	151				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	赤井家住宅利用者数		施設の見学者、貸室利用者を含む利用者の総数		人/年	目標	10400	10600	10800	11000
						実績	10533			
	指標化できない成果				達成	100%超				
方向	継続	課題	赤井家住宅の利用者数は回復傾向にあるもののコロナ前に比べ半分程度となっており、コロナ前の水準に戻す必要がある。 旧玉岡邸は、草刈等日常管理での維持が困難となってきたため、売却を含めた検討を進める必要がある。							
		改善案	Ⅰ. 施設の利用状況や、イベントの実施計画等の情報を指定管理者(伊賀市文化都市協会)と共有し、積極的な発信を行うとともに、感染症対策を講じ、安心して利用してもらえる施設であることをPRする。 Ⅱ. 指定管理者制度の利点を活用し、単年度の事業計画のみならず、指定管理期間中の計画的な運営を行う。 Ⅲ. 旧玉岡邸の売却に向け具体的に課題整理等に取組む。							

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業					決算書頁									
358 - 1							289									
基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業										
	施策	4-1	都市政策		H20 年度～ R3 年度		01-08-04-02-01-02									
	基本事業	②	良好な景観形成		担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先								
	事務事業名	街なみ環境整備事業		建設部都市計画課		課長 川部 正章 0595-22-9731										
事務事業の概要	対 象	城下町重点風景地区内等において、建築行為等を行う建築主														
	目 的	景観計画で定める重点風景区域における建築行為(修繕含む)等について、景観形成基準に適合させる														
	根拠法令等	景観法														
	内 容	景観計画で定める重点風景地区において、景観まちづくりに寄与する建築行為等を行う建築主に対し、景観の保全・形成に要した建築費用の一部を助成しますが、本年度は該当がありませんでした。 ふるさと風景づくり助成金 交付件数0件、建築相談件数4件														
	事業に要した 主な経費 など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr><tr><td>需用費</td><td>18,910円</td><td>消耗品費</td></tr><tr><td>計</td><td>18,910円</td><td></td></tr></table>							経費	金額	摘要	需用費	18,910円	消耗品費	計	18,910円
経費	金額	摘要														
需用費	18,910円	消耗品費														
計	18,910円															
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)								
			国県支出金	0	2,500	0	0									
			地方債	0	0	0	0									
			その他	0	2,500	0	2,500									
			一般財源	30	75	19	75									
		合計(A)	30	5,075	19	2,575										
		人件費	正規職員	業務量	1.18 人	1.18 人	1.13 人		1.10 人							
				人件費	9,217	9,162	8,774		8,511							
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人										
				人件費	0	0	0		0							
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人										
				人件費	0	0	0		0							
			小計(B)	9,217	9,162	8,774	8,511									
合計(A+B)	9,247		14,237	8,793	11,086											
市民1人当たりのコスト(円)	103	160	99	127												
指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度								
				目標												
				実績												
	指標化できない成果	数値で評価できない事業である為		達成												
方向	改善	課題	現在指定されている重点風景地区については、現状にそぐわない部分があり、その区域については精査が必要です。また、家屋の新・改築等において景観形成基準に適合させる事は、少なからず私権を制限する事となり、それに伴い施主が私費の負担を強いられる事により、適合基準について理解を得られない場合が多い現状です。よって重点風景地区に対する助成制度について、類似他団体の状況を調査し再検討することが必要です。													
	改善案	伊賀上野城の城下町にある歴史情緒あふれる建物やまちなみを継承されるべき財産として理解を深めてもらうため、景観審議会や「うえのまち風景づくり協議会」からの意見を参考に、伊賀市ふるさと風景づくり助成金制度や、景観まちづくりに係る取組について地域住民等へ情報発信を行っていく。 重点風景地区については、現状にあったエリア指定ができるよう調査を進める。														

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業							決算書頁	
358 - 2									289	
基本情報		コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	3-4	中心市街地活性化		H20 年度～ R3 年度		01-08-04-02-01-02			
	基本事業	①	市街地整備		担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先		
	事務事業名	街なみ環境整備事業		産業振興部中心市街地推進課		課長 堀川 敬二 0595-22-9825				
事務事業の概要	対 象	市民、来街者、観光客								
	目 的	城下町の雰囲気やたたずまいを守りながら、住みやすく歩きやすい住環境を整備することで回遊性の向上、居住の促進を図る								
	根拠法令等									
	内 容	○平成20年度に策定した街なみ環境整備事業計画に基づき、城下町の回遊性向上のため伊賀市中心市街地における都市基盤づくりを推進し、令和3年度においては、市道小田西明寺線及び市道愛宕神社線の道路美装化を実施した。 ○市街地における景観形成整備事業を推進する「うえのまちまちづくり協議会」の活動(景観保全啓発等)に対し助成を行った。 ○平成20年度から取り組んできた当事業について、事業計画に定めた事業がすべて完了したため、令和3年度末をもって本事務事業は完了した。 ○事業で整備した街巡り拠点「成瀬平馬家門屋敷」と上野東町ポケットパーク「さまざま広場」の維持管理は、令和3年度より中心市街地公共公益施設管理経費として管理している。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	委託料		333,300円		街区基準点観測・復元業務					
			297,000円		市道愛宕神社線CBR試験業務					
	工事請負費		8,382,000円		市道愛宕神社線道路美装化工事					
			38,549,500円		市道小田西明寺線道路美装化工事					
	負担金、補助及び交付金		97,213円		まちづくり協議会活動助成金					
	その他経費		568,152円		消耗品費、光熱水費等					
	計		48,227,165円							
全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)			
		国県支出金	82,580	24,571	23,466					
		地方債	41,200	23,000	21,800					
		その他	0	0	0					
		一般財源	5,468	2,981	2,961					
		合計(A)	129,248	50,552	48,227	0				
	人件費	正規職員	業務量	0.72 人	0.72 人	0.72 人	人			
		再任用職員	人件費	5,624	5,591	5,591	0			
			業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	人			
		会計年度任用職員	人件費	0	0	0	0			
			業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	人			
		小計(B)	人件費	0	0	0	0			
			合計(A+B)	134,872	56,143	53,818	0			
	市民1人当たりのコスト(円)		1,490	629	603	0				
	指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
まちなか回遊者数		市街地主要6地点における歩行者・自転車通行量(毎年3月調査実績)		人/日	目標	3729	4000	4050	4200	
					実績	4046				
指標化できない成果				達成	100%超					
方向	完了	課題	街なみ環境整備事業は、平成20年度に策定して街なみ環境整備事業計画に基づき順次住環境の整備を進め、令和3年度が計画の最終年度となり、計画に位置付けたすべての事業が完了した。 本事業によりハード整備が一定の成果を得たことから、今後は他の事務事業により施設の有効活用について検討し、回遊性の向上、居住の促進に取り組んでいく必要がある。							
		改善案								

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業						決算書頁		
359 -								289		
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	3-4	中心市街地活性化			H20 年度～ R6 年度		01-08-04-02-01-03		
	基本事業	②	中心市街地の商業の活性化			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	中心市街地活性化事業			産業振興部中心市街地推進課		課長 堀川 敬二 0595-22-9825			
事務事業の概要	対 象	市民、商業者、起業希望者、、関係団体、来街者、観光客								
	目 的	関係団体等と協働で空き店舗の解消に取り組み、地域経済の再生による中心市街地の活性化、にぎわいの創出を推進する。								
	根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律								
	内 容	○令和2年3月に策定した第2期伊賀市中心市街地活性化基本計画に位置付けた『空き店舗情報システム整備及びコンサルタント事業』に基づき、中心市街地活性化協議会(事務局:株式会社まちづくり伊賀上野)と協働し、中心市街地の空き店舗物件の実態調査、所有者への活用意向調査、個別ヒアリング等を実施し、令和4年3月に4件の空き店舗の物件情報を協議会ホームページにて公開した。 ○伊賀市中心市街地活性化協議会(法定協)、伊賀市中心市街地活性化推進会議(庁内)において、各事業の進捗管理を行った。 《目標指標達成状況》 人口の社会増減▲27.3%、空き店舗等活用件数90.0%、観光交流施設の利用者数38.0%、歩行者・自転車通行量108.5%、イベント参加者数2.8% ○公民の5事業を中活計画に新規追加した。(上野公園園路整備事業、伊賀市空き家対策総合支援事業、貴重資料デジタル化事業、(仮称)岸宏子記念伊賀文学館整備事業、伊賀上野まち百貨店開催事業) ○目標指標(歩行者・自転車通行量)把握のため、通行量調査業務を実施した。(夏季:7/24、冬季:3/20) ○例年8月に開催している「ライトアップイベントお城のまわり」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から開催を中止した。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	通行量調査業務		183,446円							
	中心市街地活性化協議会運営活動費補助金		1,900,000円							
	計		2,083,446円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		0	0	0	0		
			地方債		0	0	0	0		
			その他		852	3,000	0	3,000		
			一般財源		2,198	2,836	2,084	3,035		
		合計(A)		3,050	5,836	2,084	6,035			
		人 件 費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人		
				人件費	7,811	7,764	7,764	7,737		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
				人件費	0	0	0	0		
			小計(B)		7,811	7,764	7,764	7,737		
			合計(A+B)		10,861	13,600	9,848	13,772		
			市民1人当たりのコスト(円)		120	153	111	157		
	指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度
空き店舗等活用件数		市街地における空き店舗が活用された件数		件	目標	5	5	5	5	
					実績	6				
指標化できない成果					達成	100%超				
方向	充実	課題	空き店舗の活用意向調査を実施した結果、実際に物件情報として公開可能となった件数が4件のみとなっている。店舗兼住居という使用形態から、活用・賃貸が困難で空き店舗のままとしている物件については、空いてはいるものの公開に結びついていないことが課題となっている。また、空き店舗の現状から積極的に利活用してもらえるよう、所有者及び市民意識の変革が必要であることも明らかとなった。							
	改善案	空き店舗活用に関して、令和4年度に物件情報を公開する準備が整ったが、活用することが成果ではなく、活用することによるにぎわい創出を成果として取り組む必要がある。物件情報の公開に至らない空き店舗については、所有者の状況や原因を確認し、公開してもらえるよう丁寧な働きかけを行っていく。また、所有者や市民の意識改革として空き店舗対策を自分事としてとらえてもらうために、成功事例、利活用事例の情報発信などを積極的に行っていく。								

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)03下水道整備費(大事業)02下水路等維持管理経費						決算書頁	
360 -								289	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	2-6	上下水道	H16 年度～ R3 年度		01-08-04-03-02-01	
	基本事業	②	下水道	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	下水路等維持管理経費			上下水道部経営企画課		課長 中 映人 0595-24-0001

事務事業の概要	対 象	上野管内の既設下水路		
	目 的	清掃・補修等、適正な維持管理の実施		
	根拠法令等			
	内 容	上野管内の下水路の機能維持のために清掃及び補修等を実施しました。 事業実績 下水路修繕 N=1式 マンホール蓋修繕 N=1式 下水路清掃業務 N=1式 下水道台帳データ作成業務 N=1式 排水樋門操作点検業務 N=1式 下水路改修工事 N=1式 マンホール蓋購入 N=8枚		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	需用費 役務費 委託料 工事請負費 公有財産購入費 補償、補填及び賠償金 計		3,531,325円 17,200円 4,111,536円 638,000円 627,660円 250,000円 9,175,721円	下水路修繕 等 電話代 施設維持管理業務 等 下水路改修工事 マンホール蓋 服部川沿岸用水南幹線水路浚渫及び汚泥排除補償費

全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) その他特定財源:行政財産目的外使用料 21,500円
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	22	21	21	21	
			一般財源	6,493	12,640	9,155	14,151	
	合計(A)		6,515	12,661	9,176	14,172		
	人件費	正規職員	業務量	0.38 人	0.38 人	0.38 人	0.38 人	
			人件費	2,969	2,951	2,951	2,941	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		小計(B)		2,969	2,951	2,951	2,941	
		合計(A+B)		9,484	15,612	12,127	17,113	
市民1人当たりのコスト(円)		105	175	136	195			

指標	指標名	指標の説明	単位	目標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				実績	—			
	指標化できない成果	管路や人孔蓋の修繕であり、指数を一律化できないため。		達成	—			

方向	継続	課題	特になし
		改善案	特になし

整理番号												決算書頁												
361 -		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)03下水道整備費(大事業)03下水路等整備事業										291												
基本情報		コード	名称				事業期間			会計-款-項-目-大事業-中事業														
	施策	2-6	上下水道				H16 年度～ R3 年度			01-08-04-03-03-01														
	基本事業	②	下水道				担当 部署	部・課名等			評価責任者・連絡先													
	事務事業名	市単下排水路整備事業				上下水道部経営企画課			課長 中 映人 0595-24-0001															
事務事業の概要	対 象	上野管内の下排水路																						
	目 的	旧上野市街地及び村落部の生活雑排水を対象として下水路整備を行う																						
	根拠法令等																							
	内 容	野間地区の公共用水域の水質保全を図るため、新設管路の整備並びに西明寺地内の冠水解消のための工法検討を行った。 市単下排水路延長(野間・四十九町) L=3,360m 令和3年度 実施延長 L= 134m(野間地区) 西明寺地内下排水路概略設計業務委託 N=1式																						
	事業に要した 主な経費 など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr><tr><td>委託料</td><td>1,210,000円</td><td>西明寺地区下排水路概略設計業務委託</td></tr><tr><td>工事請負費</td><td>8,443,600円</td><td>野間下排水路新設工事</td></tr><tr><td>計</td><td>9,653,600円</td><td></td></tr></table>												経費	金額	摘要	委託料	1,210,000円	西明寺地区下排水路概略設計業務委託	工事請負費	8,443,600円	野間下排水路新設工事	計	9,653,600円
経費	金額	摘要																						
委託料	1,210,000円	西明寺地区下排水路概略設計業務委託																						
工事請負費	8,443,600円	野間下排水路新設工事																						
計	9,653,600円																							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																
			国県支出金	0	0	0	0																	
			地方債	13,100	11,900	6,800	0																	
			その他	2,444	2,227	1,266	0																	
			一般財源	750	723	1,588	0																	
		合計(A)	16,294	14,850	9,654	0																		
		人件費	正規職員	業務量	0.29 人	0.29 人	0.29 人	0.00 人																
				人件費	2,266	2,252	2,252	0																
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人																
				人件費	0	0	0	0																
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人																
				人件費	0	0	0	0																
			小計(B)	2,266	2,252	2,252	0																	
	合計(A+B)		18,560	17,102	11,906	0																		
市民1人当たりのコスト(円)		205	192	134	0																			
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度														
	管路整備率		(整備予定管路延長-残延長)/整備予定管路延長		%	目標	134	-	-	-														
						実績	134																	
	指標化できない成果					達成	100																	
方向	完了	課題																						
		改善案																						

整理番号								決算書頁	
362 -		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)03下水道整備費(大事業)04下水道事業						291	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	7-2	財政運営	H29 年度～ R6 年度		01-08-04-03-04-01	
	基本事業	①	持続可能な財政運営	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	公共下水道事業			財務部財政課		課長 田中 広巳 0595-22-9608

事務事業の概要	対 象	公共下水道事業															
	目 的	公共下水道事業の経営健全化を図る。															
	根拠法令等	総務省通知「地方公営企業繰出金について」															
	内 容	下水道事業会計公共下水道事業及び特定環境保全公共下水道事業において、各事業の経営健全化を図るため、施設維持管理に要する直接的経費については使用料で賄うこととし、一般会計から次のとおり補助しました。 【公共下水道事業補助】 ・下水道事業債の償還に要する経費(元金・利息) ・下水道事業人件費に要する経費 ・新都市浄化センターに要する経費 【特定環境保全公共下水道事業補助】 ・下水道事業債の償還に要する経費(元金・利息) ・下水道事業人件費に要する経費 【公共下水道事業負担金】 ・雨水処理施設維持管理経費に要する経費															
	事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>13,794,539円</td> <td>公共下水道事業補助</td> </tr> <tr> <td></td> <td>477,846,717円</td> <td>特定環境保全公共下水道事業補助</td> </tr> <tr> <td></td> <td>589,388円</td> <td>公共下水道事業負担金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>492,230,644円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	13,794,539円	公共下水道事業補助		477,846,717円	特定環境保全公共下水道事業補助		589,388円	公共下水道事業負担金	計	492,230,644円	
経費	金額	摘要															
負担金、補助及び交付金	13,794,539円	公共下水道事業補助															
	477,846,717円	特定環境保全公共下水道事業補助															
	589,388円	公共下水道事業負担金															
計	492,230,644円																

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) ・総務省の通知に基づく繰出金(補助・負担金)については、地方交付税等において考慮するものとされています。	
		国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	492,015	494,268	492,231	520,457		
	合計(A)	492,015	494,268	492,231	520,457			
	事業費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		小計(B)	0	0	0	0		
		合計(A+B)	492,015	494,268	492,231	520,457		
	市民1人当たりのコスト(円)	5,433	5,538	5,515	5,929			

指標	指標名	指標の説明	単位	目標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	-	-		実績				
	指標化できない成果	成果を求める事業ではない。		達成				

方向	課題	
	改善案	

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)04都市下水路費(大事業)01都市下水路維持管理経費						決算書頁	
363 -								291	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	2-6	上下水道	H16 年度～ R6 年度		01-08-04-04-01-01	
	基本事業	②	下水道	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	緑ヶ丘都市下水路浄化施設維持管理経費			上下水道部経営企画課		課長 中 映人 0595-24-0001

事務事業の概要	対 象	緑ヶ丘都市下水路浄化施設		
	目 的	機能維持のための管理と周辺環境の保全を行う		
	根拠法令等			
	内 容	伊賀市緑ヶ丘地内の家庭並びに工場等の雑排水が一級河川久米川に流入し、水質汚濁を招いていたため、昭和59年に「都市下水路雑排水対策モデル事業」として本施設が建設された。公共用水域の水質保全のため緑ヶ丘下水路浄化施設の適切な維持管理を行いました。 集水面積 84.5ha 計画対象人口 4,000人 事業実績 施設維持管理 1式 施設修繕 1式		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	需用費 委託料		1,170,561円 7,784,777円	光熱水費・修繕料 施設管理業務委託 等
	計		8,955,338円	

全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	9,315	9,430	8,955	8,986	
	合計(A)		9,315	9,430	8,955	8,986		
	人件費	正規職員	業務量	0.12 人	0.12 人	0.12 人	0.12 人	
			人件費	938	932	932	929	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		小計(B)		938	932	932	929	
		合計(A+B)		10,253	10,362	9,887	9,915	
市民1人当たりのコスト(円)		114	117	111	113			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	水質検査合格数	水質検査合格回数 (1回/月×12ヵ月)	回	目標	12	12	12	12
				実績	12			
指標化できない成果				達成	100			

方向	継続	課題	特になし
		改善案	特になし

整理番号		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)04都市下水路費(大)01都市下水路維持管理経費						決算書頁	
364 -								291	

基本情報	コード	名称		事業期間		会計-款-項-目-大-事業-中-事業	
	施策	2-6	上下水道	R3	年度～	R6 年度	01-08-04-04-01-02
	基本事業	②	下水道	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	緑ヶ丘都市下水路浄化施設更新事業			上下水道部経営企画課		課長 中 映人 0595-24-0001

事務事業の概要	対 象	緑ヶ丘都市下水路浄化施設								
	目 的	機能維持のため施設の更新を行う。								
	根拠法令等									
	内 容	伊賀市緑ヶ丘地内の家庭並びに工場等の雑排水が一級河川久米川に流入し、水質汚濁を招いていたため、昭和59年に「都市下水路雑排水対策モデル事業」として本施設が建設された。 建物内の壁にアスベストが含まれている可能性があるためアスベスト調査を実施した。 集水面積 84.5ha 計画対象人口 4,000人 アスベスト含有試験業務委託 N=1式								
	事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>49,500円</td> <td>アスベスト含有試験業務委託</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>49,500円</td> <td></td> </tr> </table>	経費	金額	摘要	委託料	49,500円	アスベスト含有試験業務委託	計	49,500円
経費	金額	摘要								
委託料	49,500円	アスベスト含有試験業務委託								
計	49,500円									

全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	23,100	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	0	1,384	49	2,477	
	合計(A)	0	24,484	49	2,477			
	人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	
			人件費	0	2,330	2,330	2,322	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		小計(B)	0	2,330	2,330	2,322		
		合計(A+B)	0	26,814	2,379	4,799		
	市民1人当たりのコスト(円)			0	301	27	55	

指標	指標名	指標の説明	単位	目標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				実績	-			
	指標化できない成果	施設の機械機器更新で、指標を一律化できないため		達成	-			

方向	継続	課題	本施設は築後37年を経過しており、処理施設の老朽化が進んでいることから、各機器の改築更新を図る必要がある。
		改善案	日常の維持管理報告に基づき、各機器の長寿命化や改築更新を図る。

整理番号								決算書頁		
365 -		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)05公園費(大事業)01公園施設維持管理経費						291		
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業		
	施策	4-1	都市政策			H16 年度～ R3 年度		01-08-04-05-01-01		
	基本事業	②	良好な景観形成			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先	
	事務事業名	公園施設維持管理経費			建設部都市計画課		課長 川部 正章 0595-22-9731			
事務事業の概要	対 象	都市公園施設								
	目 的	都市公園施設を安全で安心して利用できるよう維持管理を行う								
	根拠法令等	都市公園法								
	内 容	都市公園施設の維持管理業務(施設整備保守点検、清掃業務、施設補修工事、岩倉峡公園キャンプ場指定管理)を実施しました。								
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要				
	施設設備保守点検委託料		6,068,810円		浄化槽保守点検等 委託先:(有)白鳳清掃ほか					
	施設維持管理委託料		54,566,020円		都市公園清掃、樹木管理等 委託先:(公社)伊賀市シルバー人材センターほか					
	草刈業務委託料		24,462,088円		都市公園草刈等					
	消耗品費		670,505円		公園管理用消耗品費					
	光熱水費		5,487,753円		公園電気・上下水道使用料					
	修繕費		2,087,009円		公園トイレ修繕等					
	施設補修工事費		996,908円		公園浄化槽ブローア交換工事等					
	その他維持管理経費		1,665,846円		謝礼、燃料費、食糧費、手数料、土地建物借上料、原材料費					
	計		96,004,939円							
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金		0	0	0	0	公園使用料 電気ガス等使用料 草刈費用県負担金 新型コロナウイルス感染症対策基金	
			地方債		0	0	0	0		
			その他		5,355	4,269	4,825	4,384		
			一般財源		88,996	90,926	91,180	95,684		
		合計(A)		94,351	95,195	96,005	100,068			
		人件費	正規職員	業務量	1.76 人	1.76 人	1.80 人	1.58 人		
				人件費	13,748	13,665	13,976	12,225		
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人		
				人件費	0	0	0	0		
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人		
				人件費	0	1,596	1,596	1,617		
			小計(B)		13,748	15,261	15,572	13,842		
		合計(A+B)		108,099	110,456	111,577	113,910			
	市民1人当たりのコスト(円)		1,194	1,238	1,250	1,298				
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	稼働率	公園の遊具等が健全に稼働している割合		%	目標	95	95	95	95	
					実績	94				
	指標化できない成果				達成	99%				
方向	継続		老朽化した施設も多くあるため、補助事業を組み合わせ限られた予算内で都市公園施設の維持管理を効率的、効果的に 行う必要があります。							
	課題									
	改善案									

整理番号									決算書頁												
366 -		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)05公園費(大事業)01公園施設維持管理経費							291												
基本情報		コード	名称			事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業													
	施策	4-1	都市政策			H16 年度～ R4 年度		01-08-04-05-01-02													
	基本事業	②	良好な景観形成			担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先												
	事務事業名	新堂駅周辺施設公園管理費			伊賀支所振興課		課長 前川 一幸 0595-45-9111														
事務事業の概要	対 象	JR新堂駅前公園																			
	目 的	JR新堂駅前公園を維持管理する。																			
	根拠法令等																				
	内 容	JR新堂駅前公園のトイレ及び公園駐車場の清掃と、公園内の芝生管理及び樹木の剪定について、委託を行いました。 ・新堂駅前公園及び公衆トイレ・駐車場清掃業務 ・新堂駅前公園芝生管理等業務委託																			
	事業に要した 主な経費 など	<table><tr><th>経費</th><th>金額</th><th>摘要</th></tr><tr><td>委託料</td><td>1,485,000円</td><td>駅前公園及び公衆トイレ・駐車場清掃業務委託料 693,000円 (委託先: 有限会社新堂駅管理商会)</td></tr><tr><td>その他事務経費</td><td>206,764円</td><td>駅前公園芝生管理等業務委託料 792,000円 (委託先: 築山造園株式会社) 維持管理に係る需用費 (消耗品費、光熱水費)</td></tr><tr><td>計</td><td>1,691,764円</td><td></td></tr></table>									経費	金額	摘要	委託料	1,485,000円	駅前公園及び公衆トイレ・駐車場清掃業務委託料 693,000円 (委託先: 有限会社新堂駅管理商会)	その他事務経費	206,764円	駅前公園芝生管理等業務委託料 792,000円 (委託先: 築山造園株式会社) 維持管理に係る需用費 (消耗品費、光熱水費)	計	1,691,764円
経費	金額	摘要																			
委託料	1,485,000円	駅前公園及び公衆トイレ・駐車場清掃業務委託料 693,000円 (委託先: 有限会社新堂駅管理商会)																			
その他事務経費	206,764円	駅前公園芝生管理等業務委託料 792,000円 (委託先: 築山造園株式会社) 維持管理に係る需用費 (消耗品費、光熱水費)																			
計	1,691,764円																				
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目	R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)													
			国県支出金																		
			地方債																		
			その他																		
			一般財源	2,175	2,070	1,692	51														
			合計(A)	2,175	2,070	1,692	51														
		人件費	正規職員	業務量	0.42 人	0.30 人	0.25 人				0.01 人										
				人件費	3,281	2,330	1,941				78										
			再任用職員	業務量	人	人	人				人										
				人件費	0	0	0				0										
			会計年度任用職員	業務量	人	人	人				人										
				人件費	0	0	0				0										
				小計(B)	3,281	2,330	1,941				78										
				合計(A+B)	5,456	4,400	3,633				129										
	市民1人当たりのコスト(円)		61	50	41	2															
指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度													
	公園及びトイレの清掃等 作業日数		回数	目標	730	54	0	0													
				実績	730																
	指標化できない成果			達成	100																
方向	廃止	課題																			
		改善案																			

整理番号												決算書頁	
367 -		(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)05公園費(大事業)01公園施設維持管理経費										291	
基本情報		コード	名称				事業期間			会計-款-項-目-大事業-中事業			
	施策	4-1	都市政策				R元	年度～	R3 年度	01-08-04-05-01-03			
	基本事業	②	良好な景観形成				担当 部署	部・課名等			評価責任者・連絡先		
	事務事業名	公園施設更新事業				建設部都市計画課			課長 川部 正章 0595-22-9731				
事務事業の概要	対 象	都市公園施設											
	目 的	都市公園の適正管理のため公園内施設及び設備を更新する											
	根拠法令等	都市公園法											
	内 容	都市公園内施設及び設備を更新しました。											
	事業に要した 主な経費 など	経費		金額		摘要							
	修繕料		1,129,700円		タウンセンター円形ベンチ修繕工事等 (株)高田工務店ほか								
	配電線調査業務委託料		297,000円		上野公園内引込配線等調査業務委託 GOTOエンジニア								
	公園施設補修工事費		70,749,470円		上野公園園路整備工事等 (株)大栄ほか								
	計		72,176,170円										
全体コスト(千円)	事業費	直接 事業費	項目		R2年度決算	R3年度当初予算	R3年度決算	R4年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)				
			国県支出金		0	0	294	0					
			地方債		8,000	55,500	57,800	0					
			その他		0	8,303	6,304	18,500					
			一般財源		8,200	8,626	7,778	0					
		合計(A)		16,200	72,429	72,176	18,500						
		人件費	正規職員	業務量	1.13 人	1.19 人	1.19 人	1.10 人					
				人件費	8,827	9,240	9,240	8,511					
			再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人					
				人件費	0	0	0	0					
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人	人					
				人件費	0	0	0	0					
			小計(B)		8,827	9,240	9,240	8,511					
			合計(A+B)		25,027	81,669	81,416	27,011					
	市民1人当たりのコスト(円)		277	915	913	308							
指標	指標名		指標の説明		単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	事業進捗率		予算に対する執行額の割合		%	目標	100	100	100	100			
						実績	100						
	指標化できない成果				達成	100%							
方向	継続	課題	老朽化した施設も多くあり、適正に管理するため限られた予算内で公園内施設及び設備を効率的、効果的に更新する必要があります。										
		改善案											